

ニセコ観光圏住民観光意識調査・研究事業



ニセコ観光圏

● NISEKO TOURISM ZONE

倶知安町・蘭越町・ニセコ町

ニセコ観光圏住民観光意識 アンケート調査

報告書【概要版】

平成30年3月

小樽商科大学グローバル戦略推進センター
産学官連携推進部門

目次

1	本調査の目的	1
2	アンケート調査概要	2
3	アンケート調査結果	3
3.1	回答者の属性	3
3.2	調査結果から見る特徴	4

1

本調査の目的

1. 調査の目的と意義

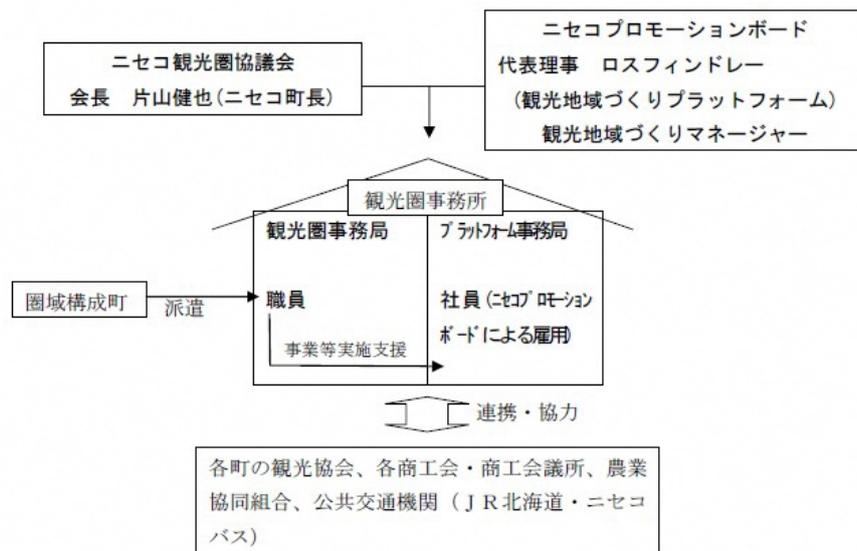
ニセコ地域では、観光圏の認定を受けたことを契機に、「NISEKO, My Extreme～世界が選ぶニセコ」をコンセプトに、インバウンド観光をベースとし更なるブランドアップを図り、世界に通用する、国際リゾート地を志向しているところである。

平成26年に策定されたニセコ観光圏整備計画では、観光振興意識の調査と検証が織り込まれ、国際的なリゾートにふさわしい空間、環境にあり方について中長期的な地域づくりが求められている。本調査では、ニセコ地域の住民を対象に、観光に関する意識調査・研究を実施、今後の観光振興計画策定に資することを目的とするものである。

具体的な取組みとして、ニセコ観光圏における観光における住民意識調査を、アンケート配布にて実施した。アンケート調査は、調査票を用い、各世帯に郵送配布・回収する方式で実施した。

本報告書は、その調査・研究成果をまとめたものである。本報告書が、ニセコ観光圏に携わる方々の参考になり、ニセコの国際化と地域づくりの一助になれば幸いである。

【ニセコ観光圏実地体制図】



(出所：ニセコ観光圏整備計画)

2

アンケート調査概要

1. 調査対象

- ・ニセコ観光圏3町（倶知安町、ニセコ町、蘭越町）全世帯

2. 調査方法

- ・アンケートを各世帯に郵送配布、郵送回収

3. 調査時期

- ・平成30年1月1日～26日

4. 有効回答数1,469サンプル

5. 分析方法

- (1) 単純集計：データを集計し分析
- (2) クロス集計：各町別



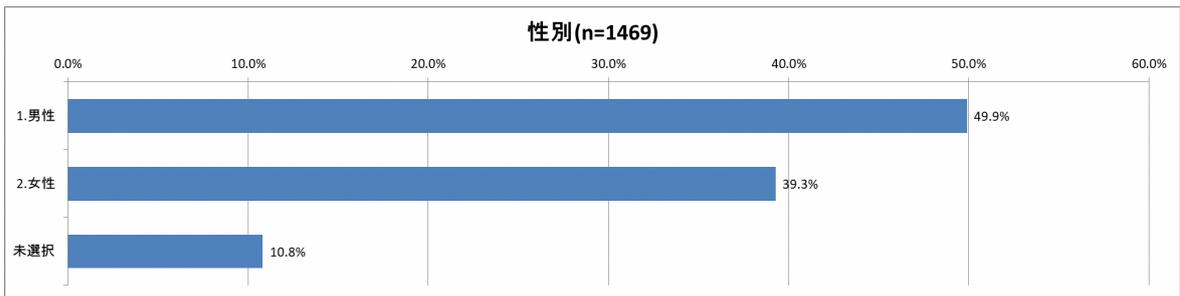
3

アンケート調査結果

3.1 回答者の属性

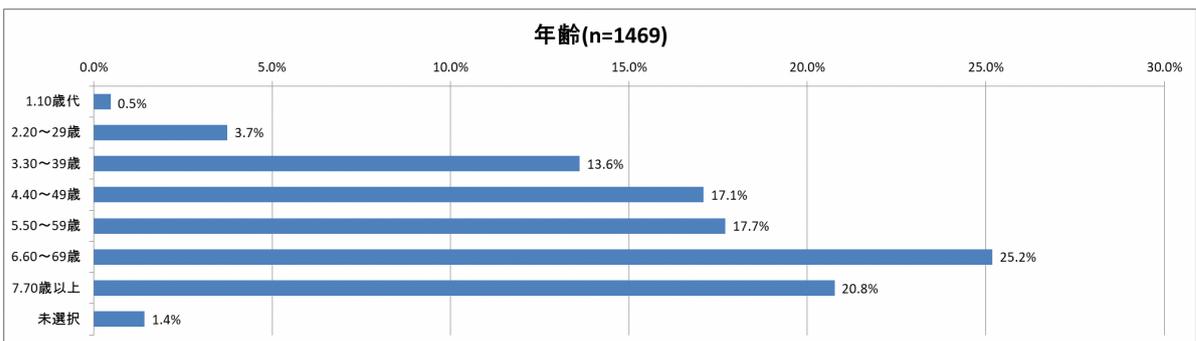
(1) 性別

回答者は、男性49.9%(733)、女性39.3%(577)の結果であり、男性の意見が若干大きく反映されているものとなっている。



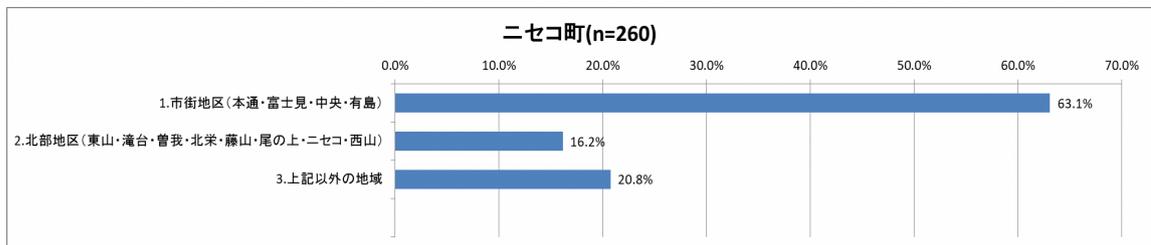
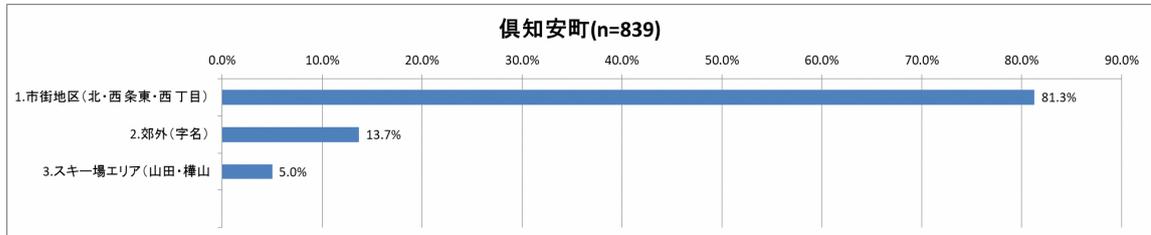
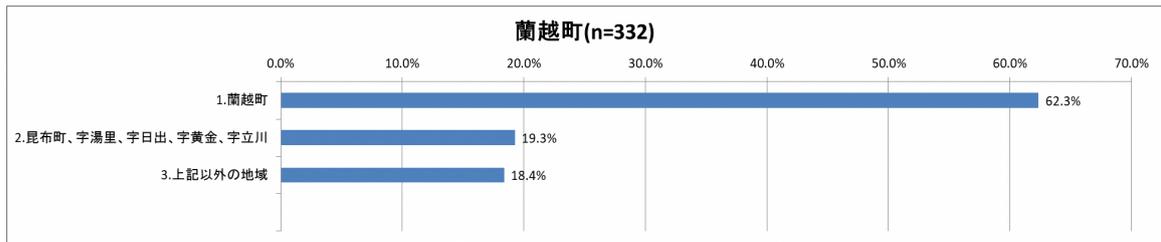
(2) 年齢

回答者の年齢は、60～69歳が25.2%(370)と最も多く、次いで、70歳以上が20.8%(305)、50～59歳が17.7%(260)、40～49歳が17.1%(251)、30～39歳が13.6%(200)、20～29歳が3.7%(55)、10歳代が0.5%(7)の順であった。60歳以上の回答が全体の約5割を占めている。



(3) 居住地

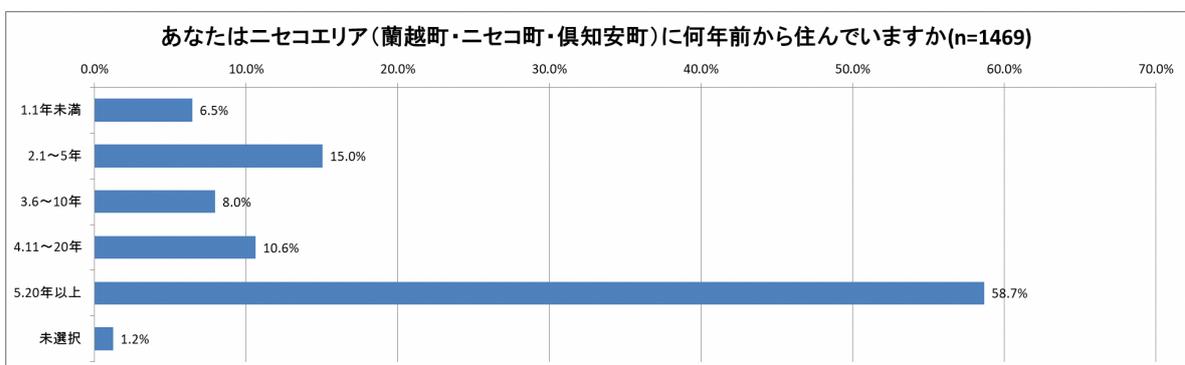
回答者の居住地は、蘭越町23.2%(332)、倶知安町58.6%(839)、ニセコ町18.2%(260)、であった。各町別では、蘭越町内62.3%(207)、蘭越町外37.7%(125)、倶知安町内81.3%(682)、倶知安町外18.7%(157)、ニセコ町内63.1%(164)、ニセコ町外36.9%(96)、となっている。



3.2 調査結果から見る特徴

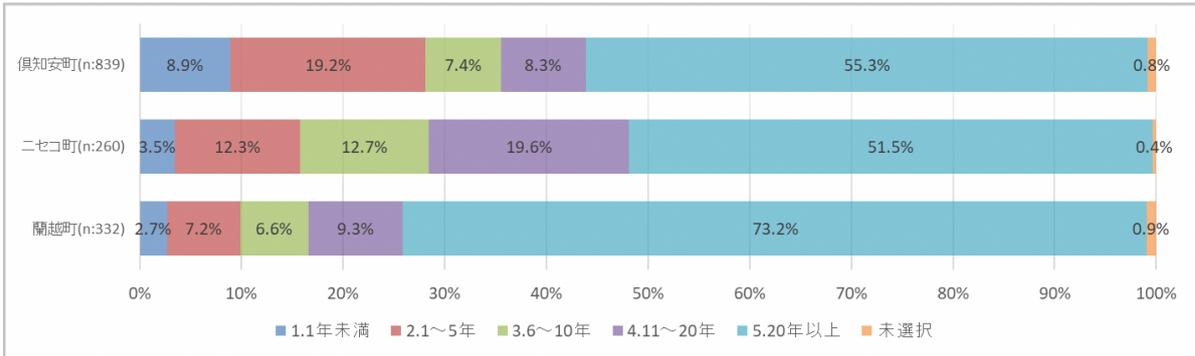
(1) あなたはニセコエリア（蘭越町・ニセコ町・倶知安町）に何年前から住んでいますか（1つに○）

居住20年以上の回答者が約6割（862）、居住11年以上だと7割（1,018）となり、居住歴が長い回答者の意見が反映された結果となっている。



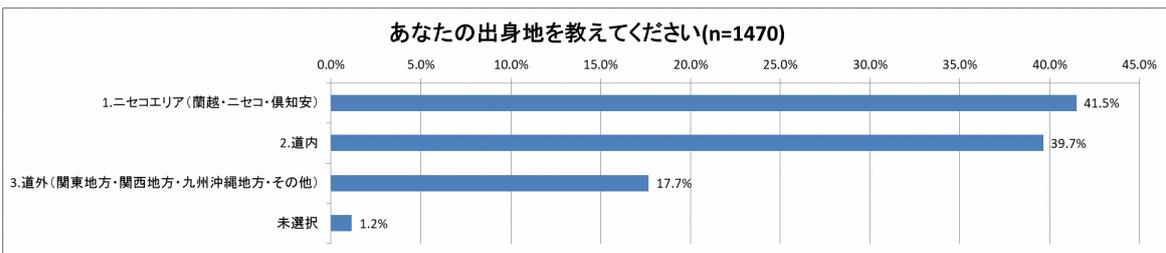
町別にみると、居住20年以上の回答者が各町とも約5～7割で多い点には変わりはないが、居住5年以内でみると、倶知安町が28.1%(236)、ニセコ町が15.8%(41)、蘭越町が9.9%(33)となっている。これは、倶知安町においては5年以内の居住者の意見も多く

反映されていることを示している。

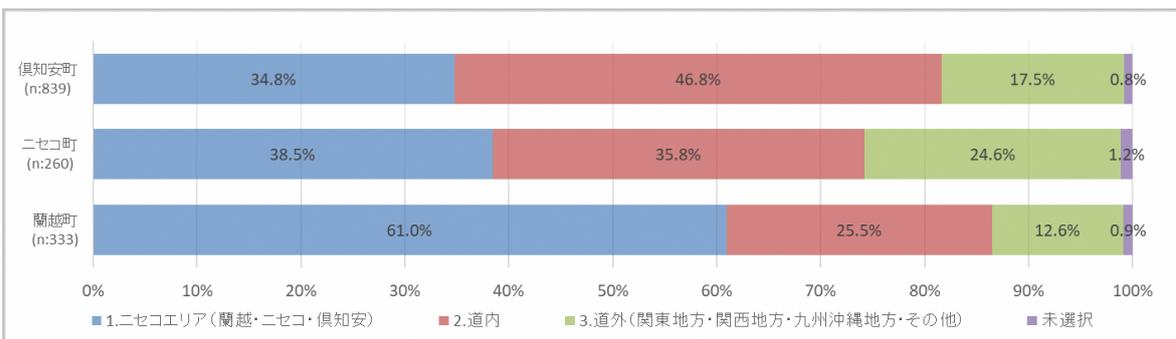


(2) あなたの出身地を教えてください(1つに○)

ニセコエリアの出身が約4割(610)、北海道内出身が約4割(583)、北海道外出身が約2割(260)の回答比率となっている。



町別にみると、蘭越町においてはニセコエリアの出身者が61.0%(203)であるが、倶知安町が34.8%(292)、ニセコ町が38.5%(100)と両町においては3割台に留まり、反対にニセコエリア外の出身者が、倶知安町が64.3%(540)、ニセコ町が60.4%(157)となっている。

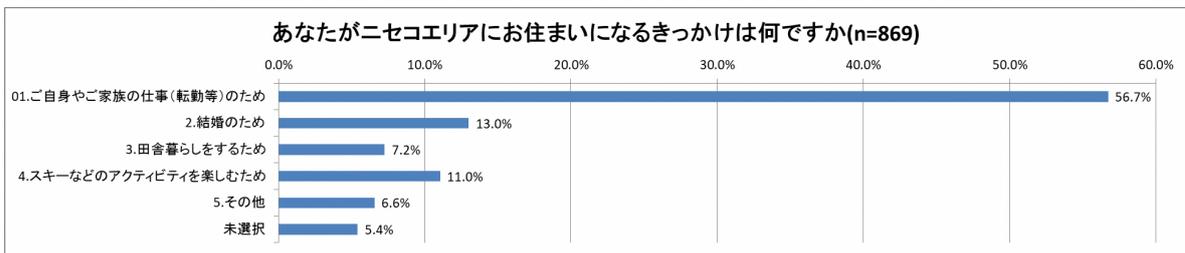


(3) あなたがニセコエリアにお住まいになるきっかけは何ですか(1つに○)

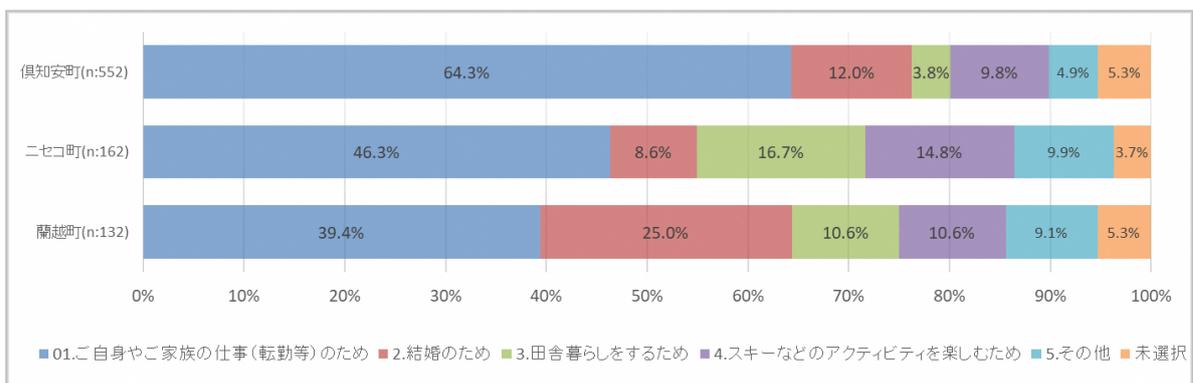
※ニセコエリア以外の出身者を対象

仕事などでの居住が56.7%(493)、結婚13.0%(113)で全体の7割を占める。一方で、田

舎暮らし7.2%(63)、スキーやアクティビティを楽しむ11.0%(96)との回答が2割(159)あった。これは、ニセコという地域を気に入り移住したと考えることができる。

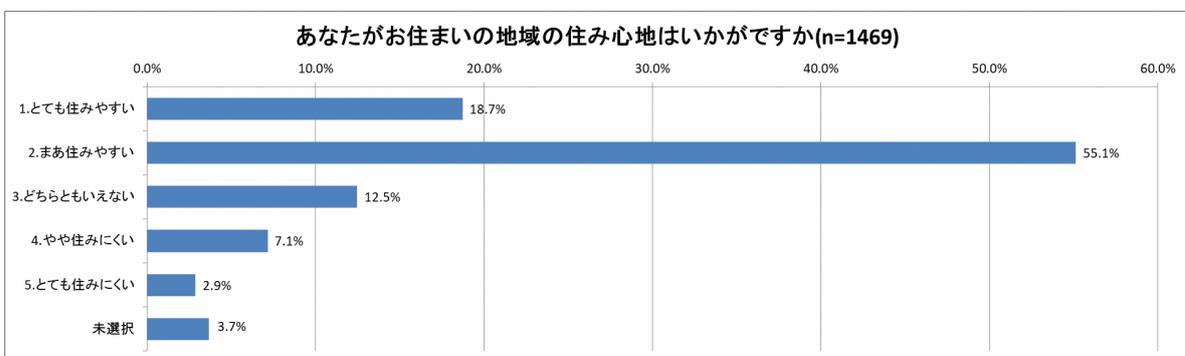


町別にみると、仕事などでの居住が3町共通して多いが、倶知安町が64.3%(355)、ニセコ町が46.3%(75)、蘭越町が39.4%(52)とその比率に差があることがわかる。また、倶知安町においては、結婚12.0%(66)、スキーやアクティビティを楽しむ9.8%(54)、ニセコ町においては、田舎暮らし16.7%(27)、スキーやアクティビティを楽しむ14.8%(24)、蘭越町においては、結婚25.0%(33)が多くなっている。

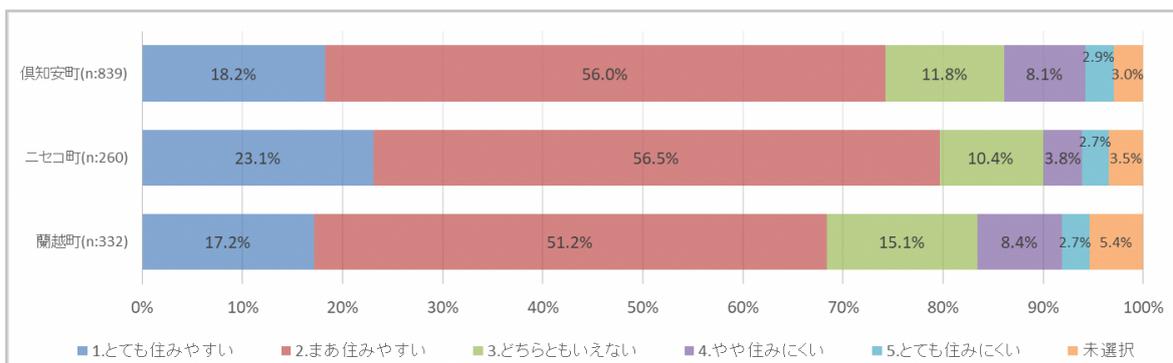


(4) あなたがお住まいの地域の住み心地はいかがですか(1つに○)

とても住みやすい18.7%(275)、まあ住みやすい55.1%(810)、2つの回答で約7割(1,085)を占め、住み心地については一定程度満足していると考えることができる。

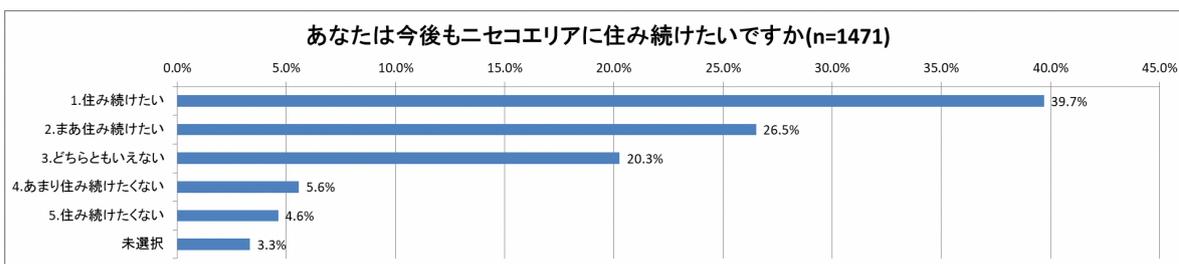


町別にみると、各町とも、とても住みやすい、まあ住みやすい、2つの回答で約7割を占めている。

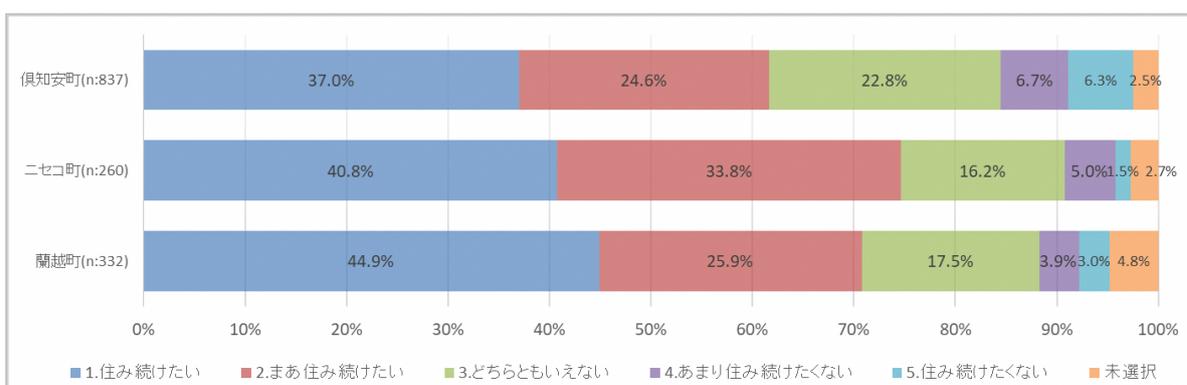


(5) あなたは今後もニセコエリアに住み続けたいですか (1つに○)

住み続けたい39.7%(584)、まあ住み続けたい26.5%(390)で約7割(974)を占め、ニセコエリアへの継続居住意向は高いと考えることができる。



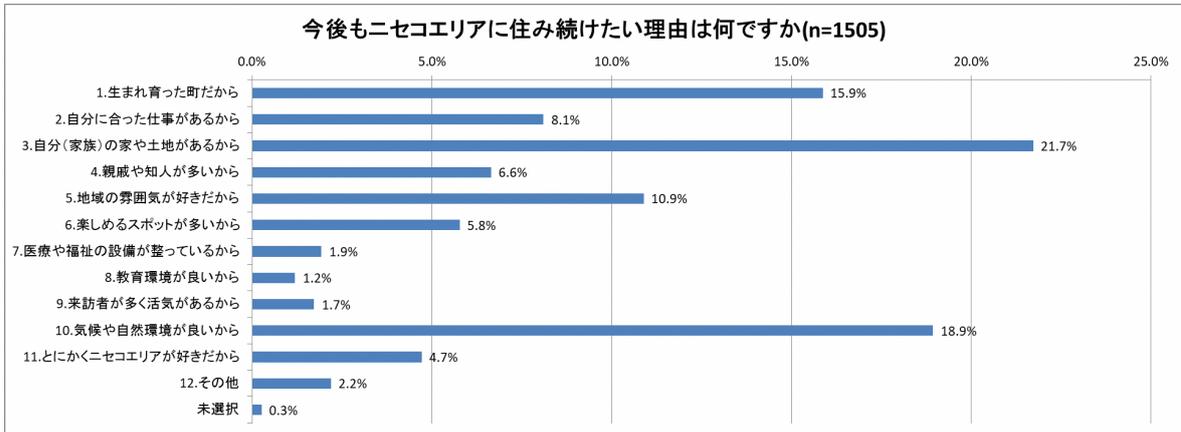
町別にみると、住み続けたい、まあ住み続けたいとの回答が、倶知安町61.6%(516)、ニセコ町74.6%(194)、蘭越町70.8%(235)となっており、若干地域差があるものの、各町とも継続居住意向は高いと考えることができる。



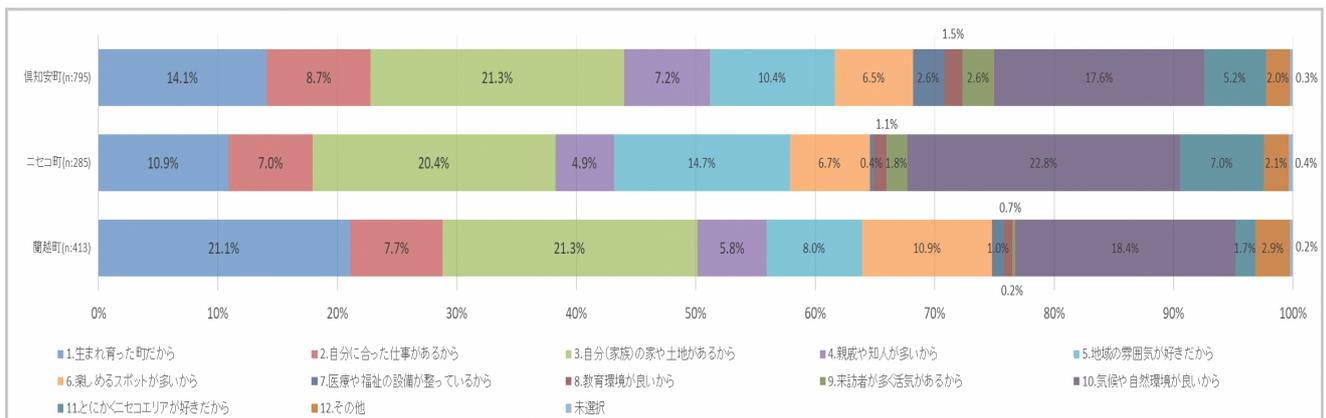
(6) 今後もニセコエリアに住み続けたい理由は何ですか（上位3つに○）

※「住み続けたい」と回答した者を対象

居住継続意向の理由として上位3つをあげると次のとおりとなる。自分（家族）の家や土地があるから21.7%(327)、気候や自然環境が良いから18.9%(285)、生まれ育った町だから15.9%(239)。地域への愛着に加え、気候や自然環境の回答が高い点が特徴となっている。



町別で上位3つをあげると次のとおりとなる。倶知安町、自分（家族）の家や土地があるから21.3%(169)、気候や自然環境が良いから17.6%(140)、生まれ育った町だから14.1%(112)。ニセコ町、気候や自然環境が良いから22.8%(65)、自分（家族）の家や土地があるから20.4%(58)、地域の雰囲気が好きだから14.7%(42)。蘭越町、自分（家族）の家や土地があるから21.3%(88)、生まれ育った町だから21.1%(87)、気候や自然環境が良いから18.4%(76)。大きな傾向は全体の回答と変わらないが、ニセコ町において地域の雰囲気が好きとの回答が多い点が特徴的である。

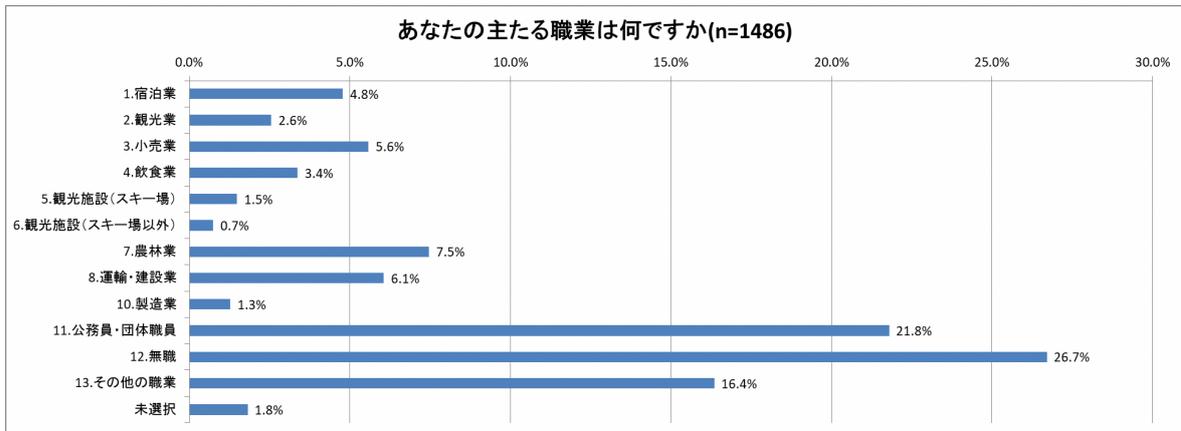


【仕事の状況】

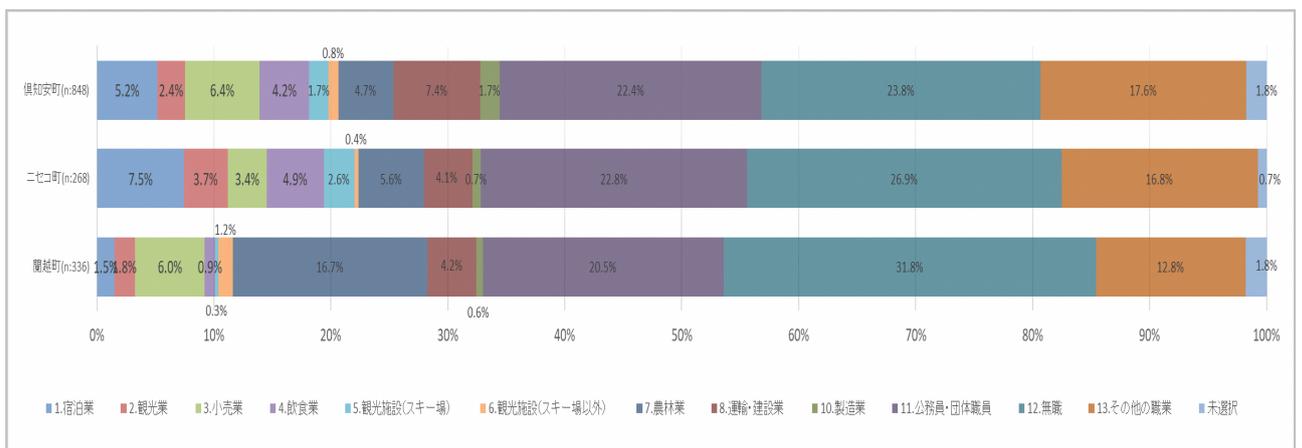
(7) あなたの主たる職業は何ですか（1つに○）

無職26.7%(397)、公務員・団体職員21.8%(324)、その他の職業16.4%(243)で6割以上を占める。宿泊業4.8%(71)、観光業2.6%(38)、観光施設（スキー場）1.5%(22)、観光施

設（スキー場以外）0.7%(11)と観光関連従事者の回答は約1割である。

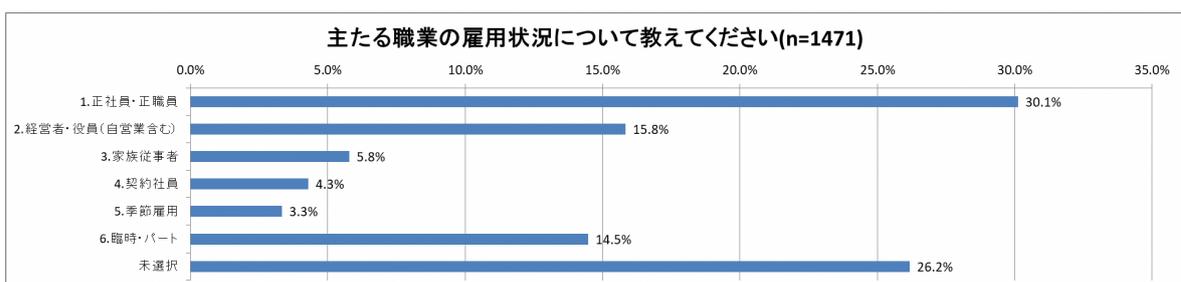


町別にみると、無職、公務員・団体職員、その他の職業で6割以上を占め、全体の回答と傾向は変わらないが、蘭越町においては、農林業が16.7%(56)と割合が大きくなっている。

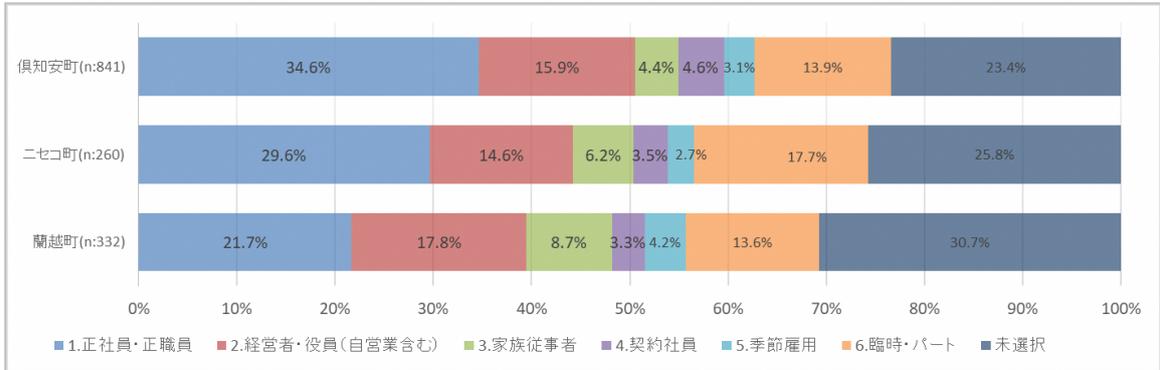


(8) 主たる職業の雇用状況について教えてください(1つに○)

正社員30.1%(443)、経営者・役員(自営業含む) 15.8%(233)、臨時・パート14.5%(213)が上位となっている。なお、回答未選択が26.2%(385)であり、高率となっている。

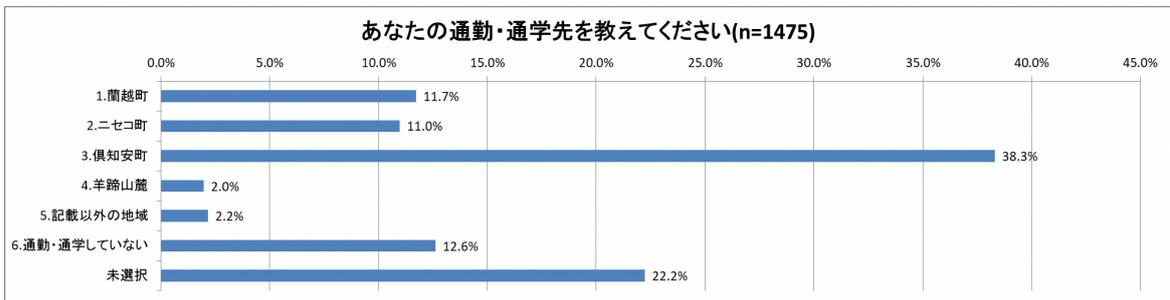


町別にみると、正社員、経営者・役員（自営業含む）、臨時・パートが上位を占め、全体の回答と傾向は変わらない。蘭越町においては、回答未選択が30.7%(102)と他町に比べ多くなっている。

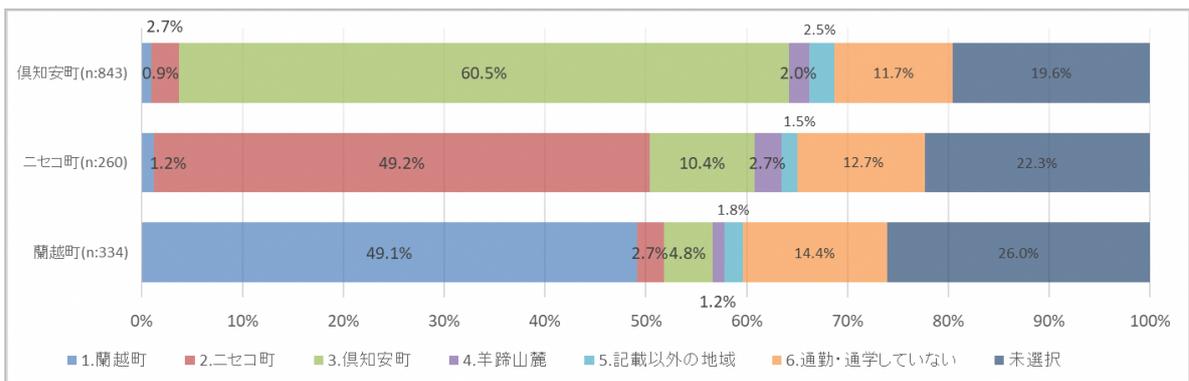


(9) あなたの通勤・通学先を教えてください（1つに○）

上位は倶知安町38.3%(565)、通勤・通学していない12.6%(186)、蘭越町11.7%(173)、ニセコ町11.0%(162)の順である。なお、回答未選択が22.2%(328)と高率となっている。

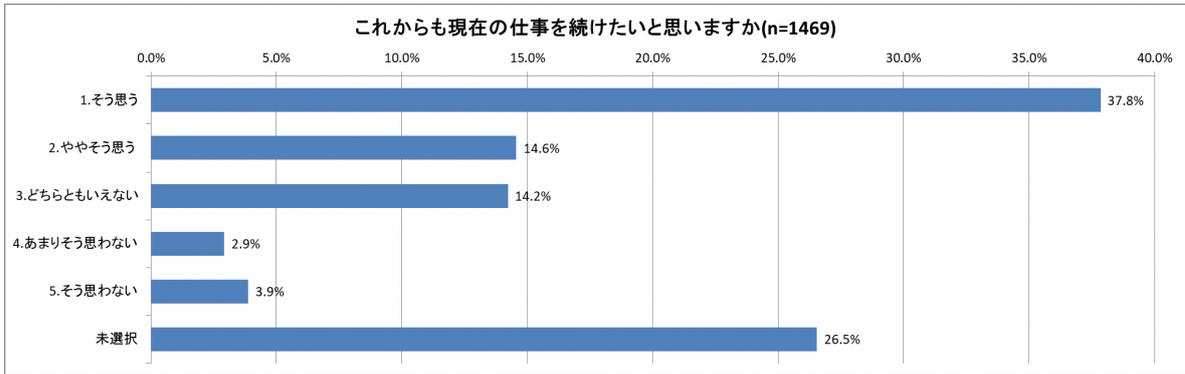


町別にみると、各町内からの通勤・通学が最も多いが、町外からの通勤・通学をみると、ニセコ町15.8%(41)、蘭越町10.5%(35)での比率が高く、倶知安町からが多くなっている。これは、住宅の供給戸数の問題が大きいと考えられる。

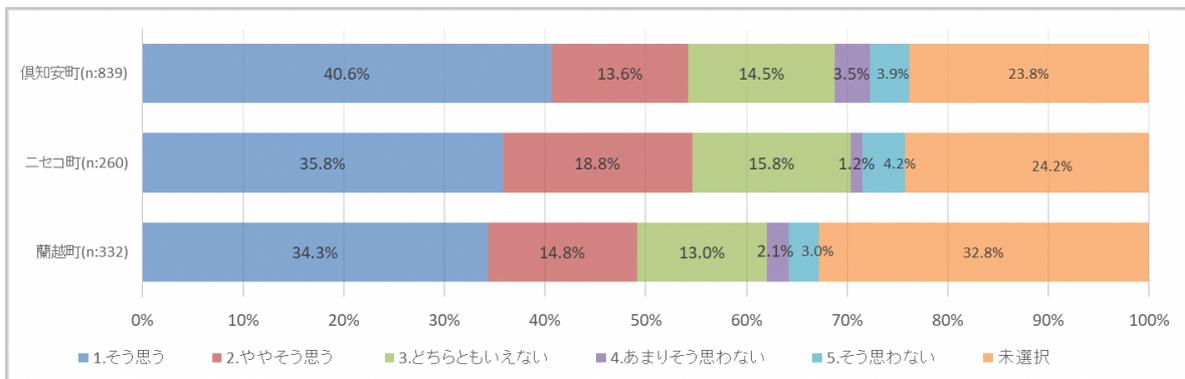


(10) これからも現在の「仕事」に従事したいと思いますか(1つに○)

仕事の継続意向は、そう思う37.8%(556)、ややそう思う14.6%(214)で5割(770)を占め、比較的高いと考えられる。一方で、回答未選択が26.5%(390)で高率となっているほか、どちらともいえない14.2%(209)の回答があり、合わせて4割を占めている。



町別にみると、各町とも仕事の継続意向は、そう思う、ややそう思う、で5割を超えており、高いと考えられる。なお、蘭越町において、回答未選択が32.8%(109)と他町に比べ多くなっている。

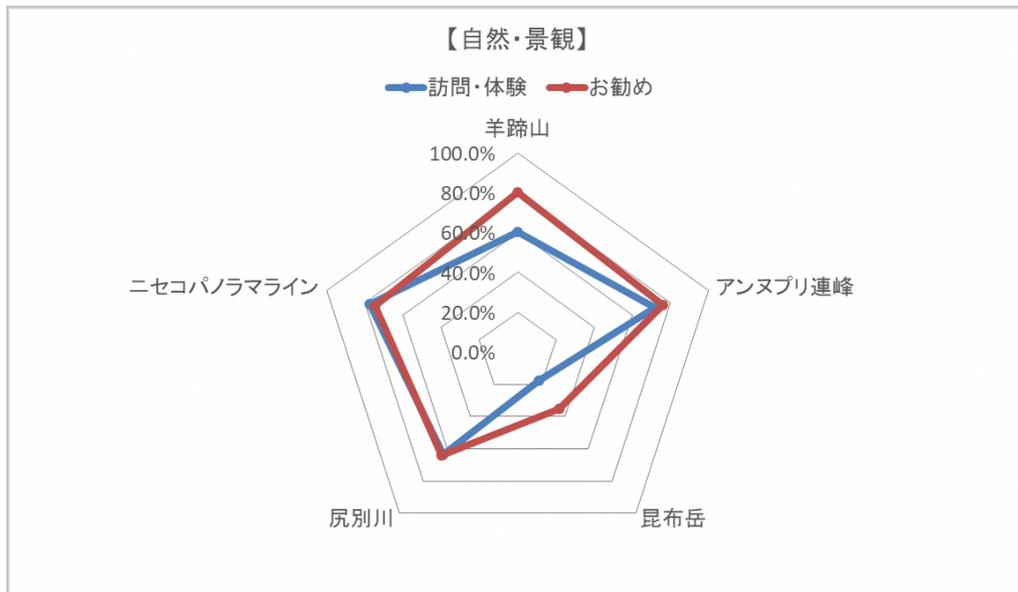


【ニセコエリアの地域資源・魅力】

(11) 資源それぞれについて、「訪問・体験・購入の有無」と、「親戚知人・お客様へのお勧め」について、あてはまる方に○をつけてください

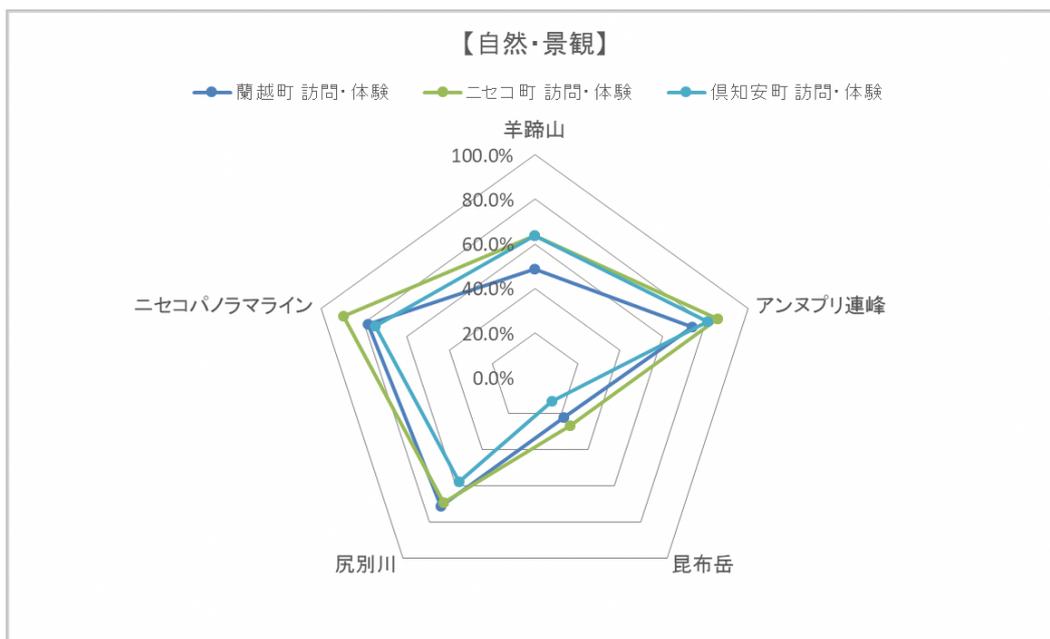
①自然・景観

訪問・体験について、昆布岳(17.7%)を除いた項目で6割を超えている。昆布岳については、2割に満たない状況で認知度不足と思われる。一方で、羊蹄山、昆布岳のお勧めは訪問・体験より約2割多い結果となっている。

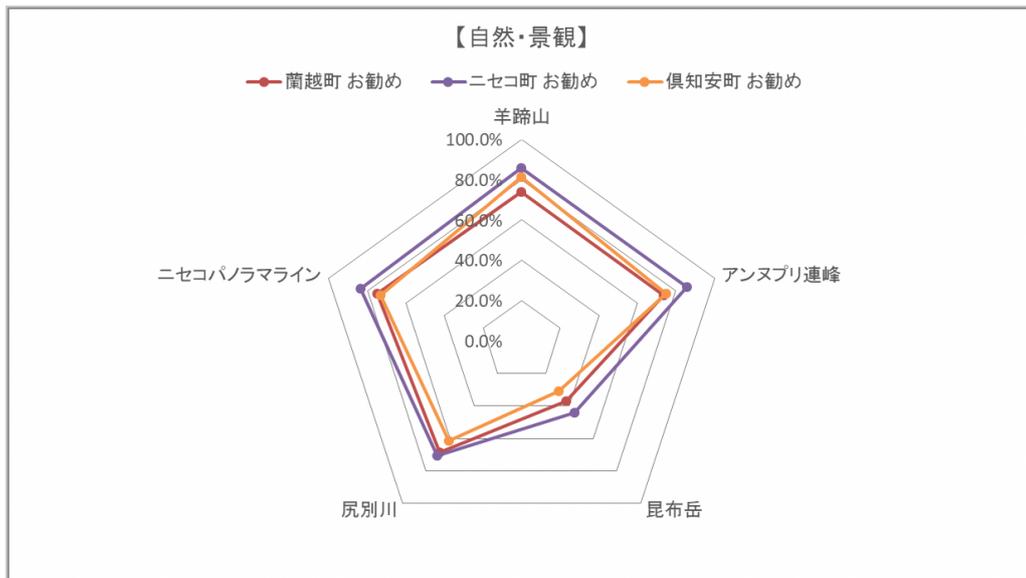


※「訪問体験：ある」「お勧め：できる」とした回答者の割合

町別にみると、各町とも、訪問・体験について、昆布岳を除いた項目で5割を超え、また、お勧めについても昆布岳を除いた項目で6割を超えており、全体と回答傾向は変わらない。



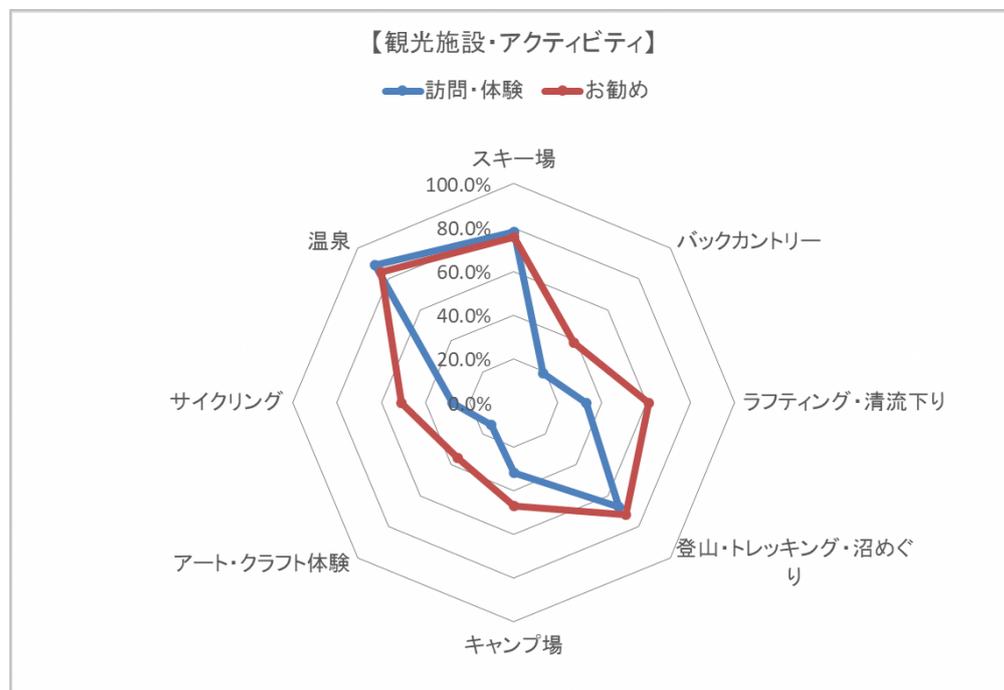
※「訪問体験：ある」とした回答者の割合



※「お勧め：できる」とした回答者の割合

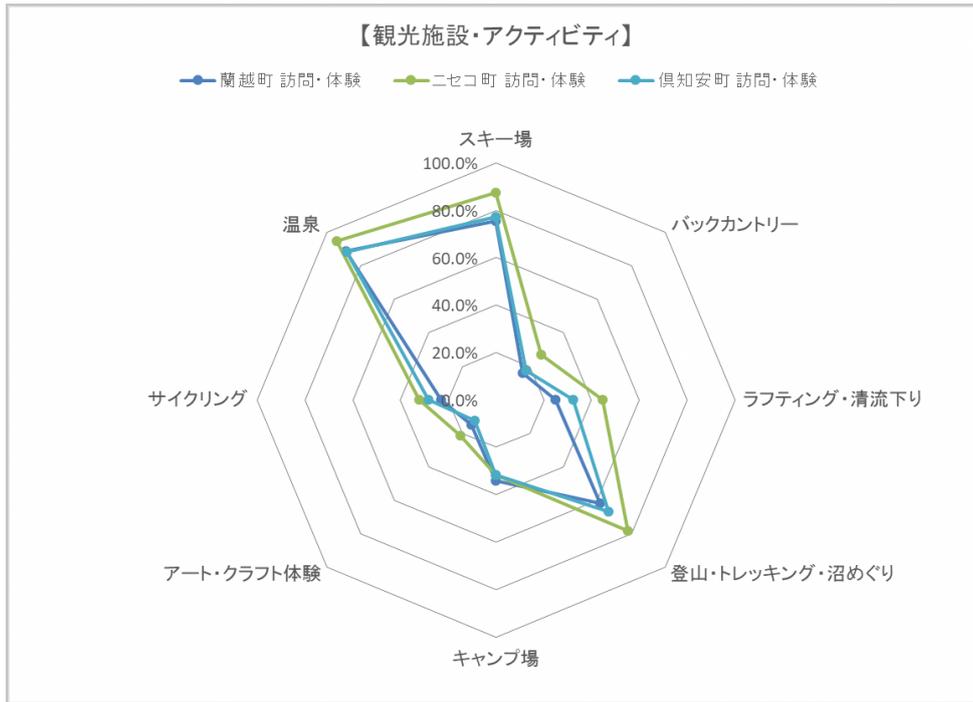
②観光施設・アクティビティ

訪問・体験について、スキー場、登山・トレッキング・沼めぐり、温泉を除く項目で比率が低くなっている。一方で、比率の低い項目のお勧めは訪問・体験を大きく上回る結果となっている。

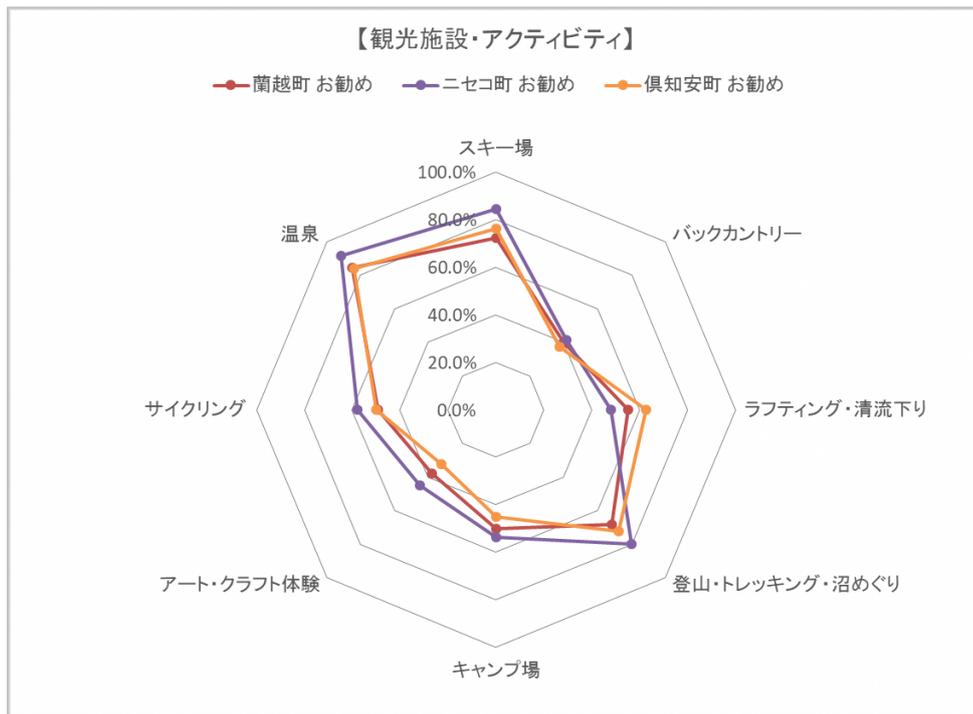


※「訪問体験：ある」「お勧め：できる」とした回答者の割合

町別にみると、各町とも、訪問・体験について、スキー場、登山・トレッキング・沼めぐり、温泉を除く項目で比率が低くなっている。一方で、比率の低い項目のお勧めは訪問・体験を大きく上回る結果となっており、全体と回答傾向は変わらない。



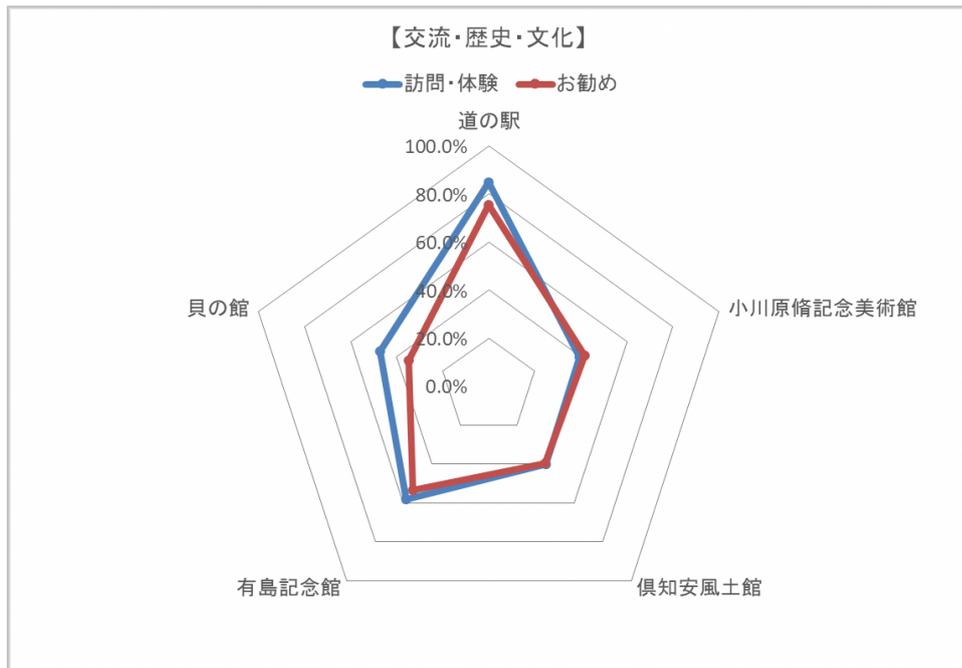
※「訪問体験：ある」とした回答者の割合



※「お勧め：できる」とした回答者の割合

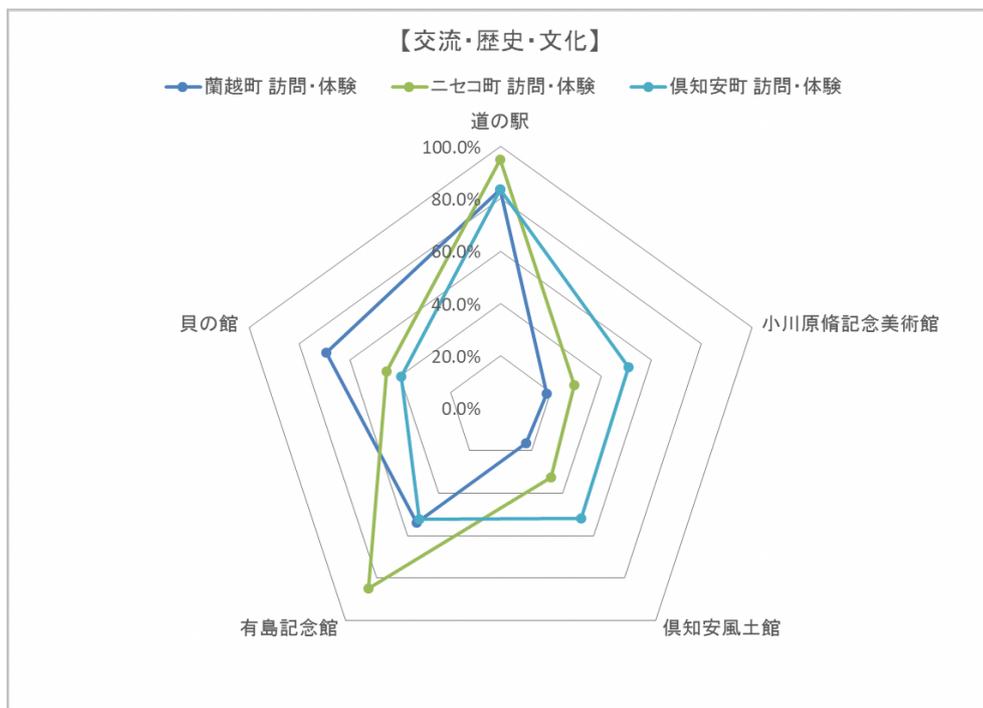
③交流・歴史・文化

訪問・体験について、小川原脩記念美術館、倶知安風土館、貝の館で5割未満と低くなっている。特に、貝の館については、訪問・体験をお勧めが1割以上下回る結果となっている。

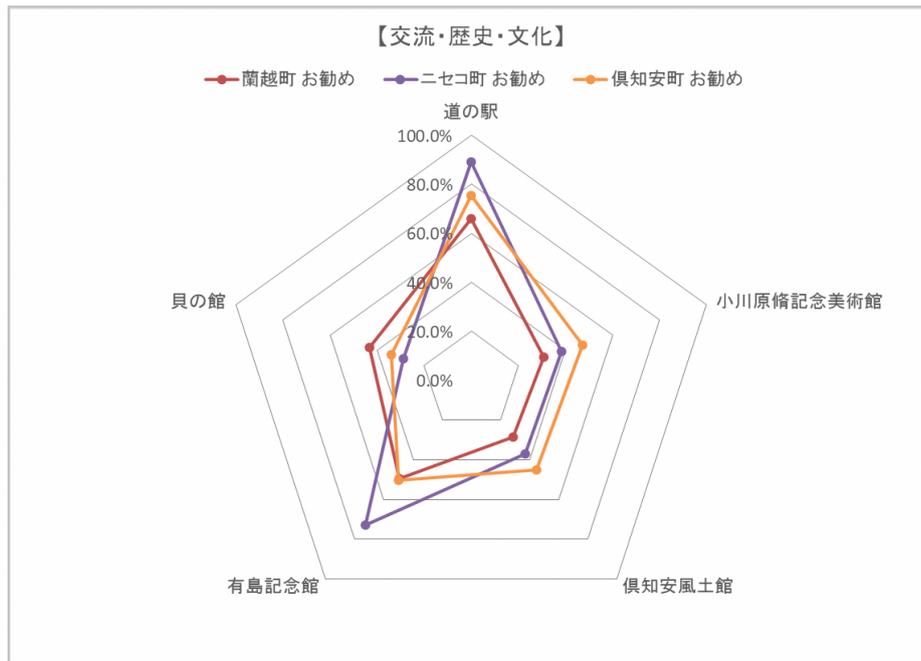


※「訪問体験：ある」「お勧め：できる」とした回答者の割合

町別にみると、各町とも、訪問・体験、お勧めについて、施設が位置する町の比率が高くなる傾向にある。



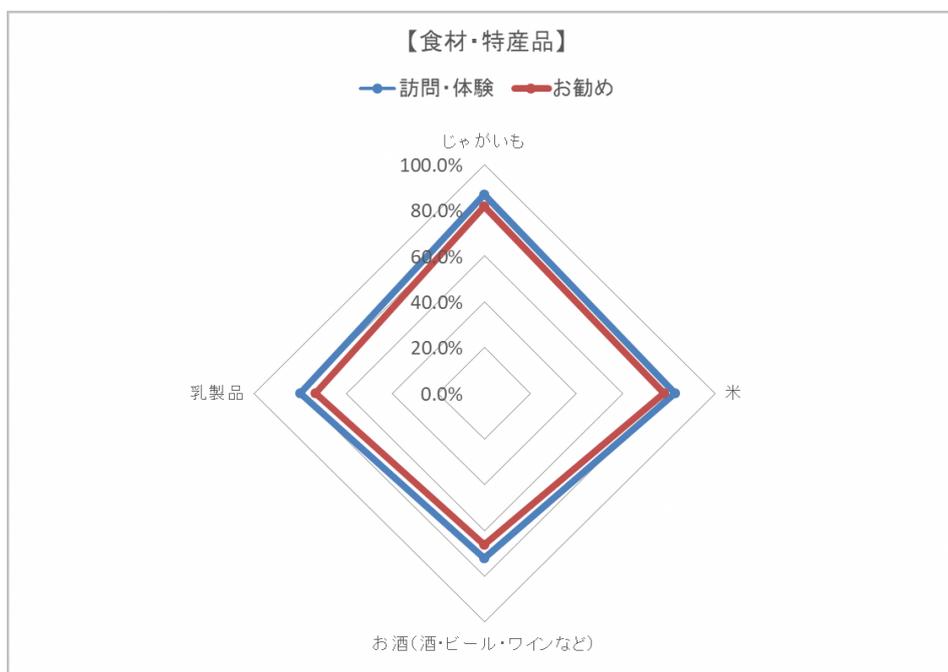
※「訪問体験：ある」とした回答者の割合



※「お勧め：できる」とした回答者の割合

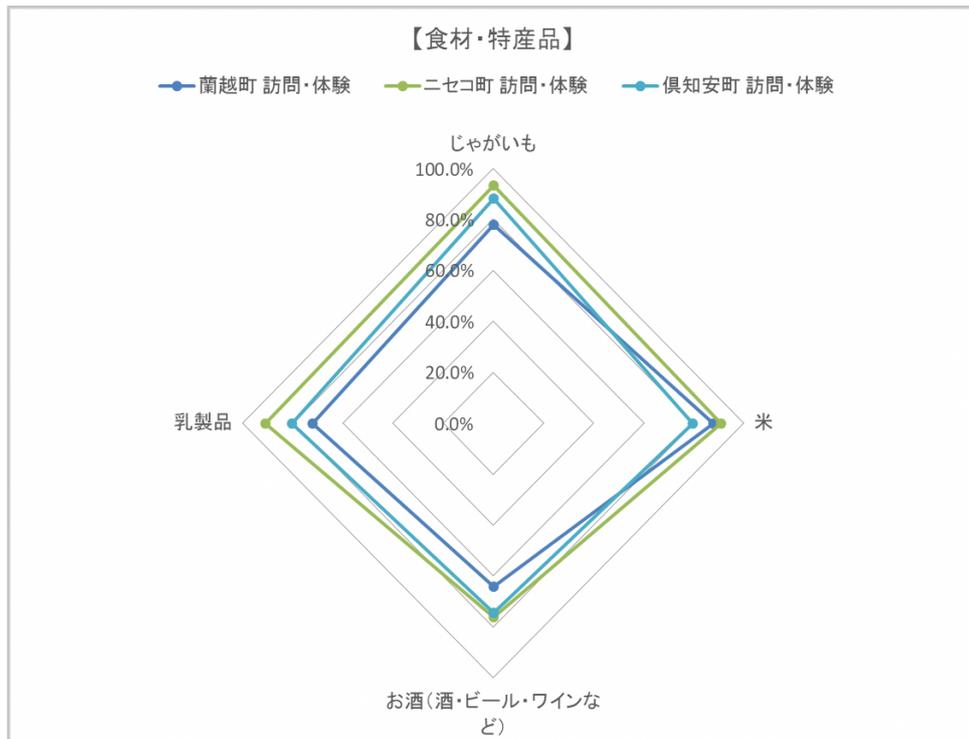
④食材・特産品

訪問・体験について、全ての項目で7割を超えている。お勧めは、訪問・体験をすべての項目で下回っている。

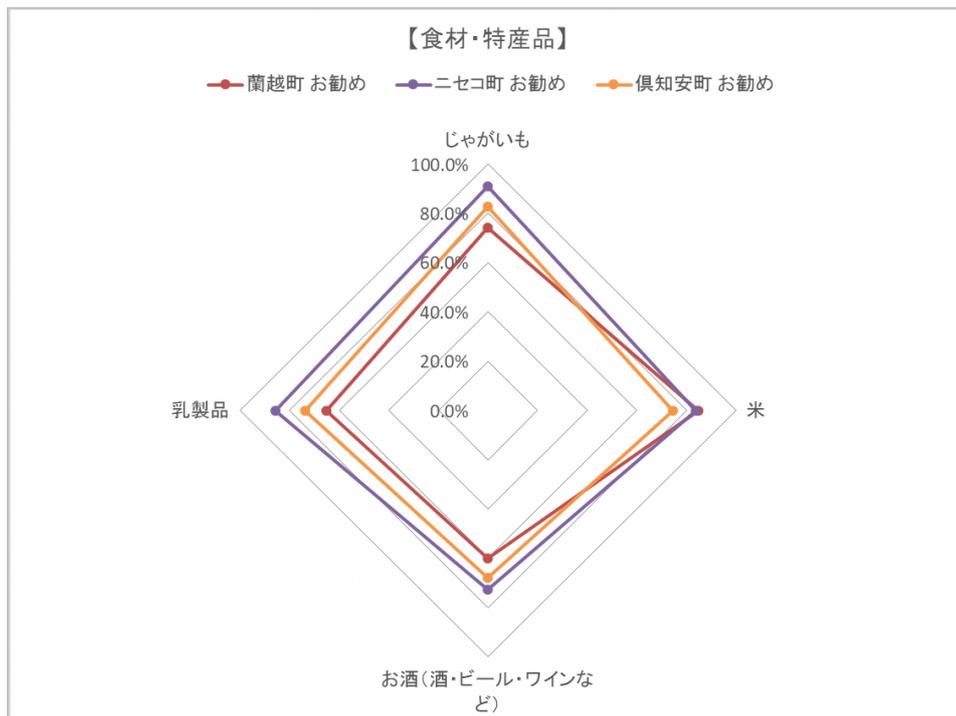


※「訪問体験：ある」「お勧め：できる」とした回答者の割合

町別にみると、各町とも訪問・体験について全ての項目で6割を超えている。お勧めは、訪問・体験をすべての項目で下回っている。



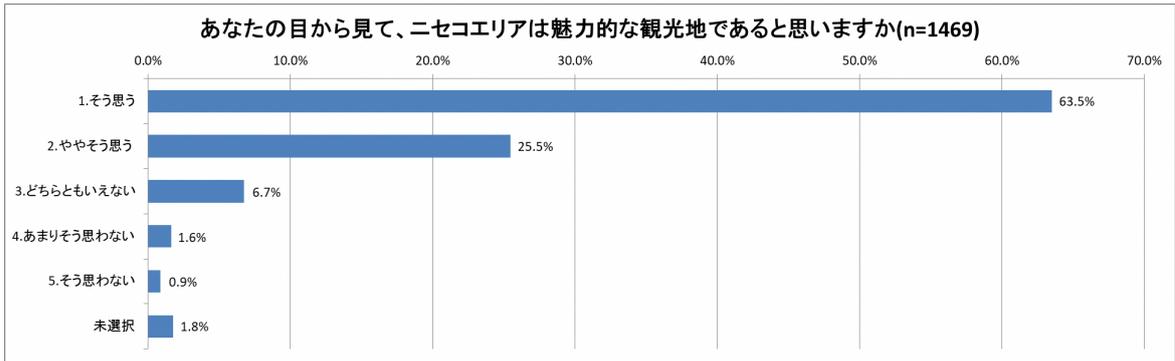
※「訪問体験：ある」とした回答者の割合



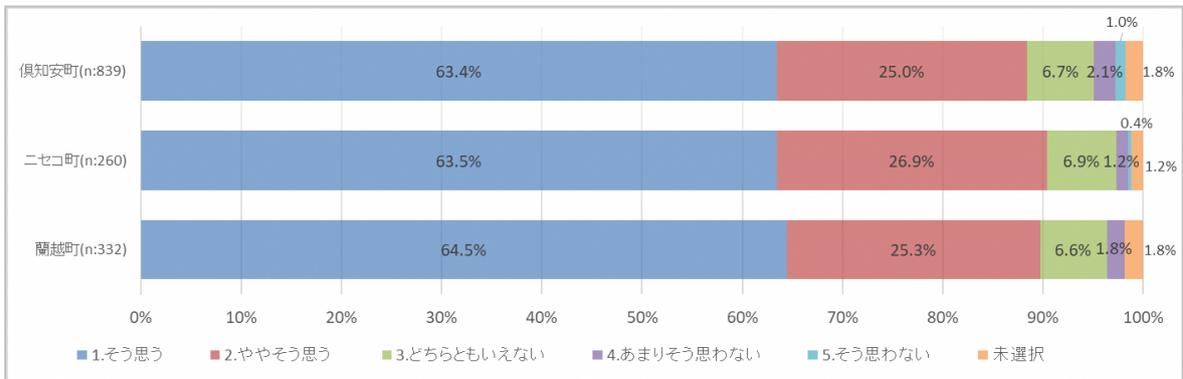
※「お勧め：できる」とした回答者の割合

(12) あなたの目から見て、ニセコエリアは魅力的な観光地であると思いますか (1つに○)

そう思う63.5%(933)が圧倒的に多く、ややそう思う25.5%(374)、2つの回答で9割(1,307)に達し、観光地として魅力的であると住民に広く認識されていることがわかる。

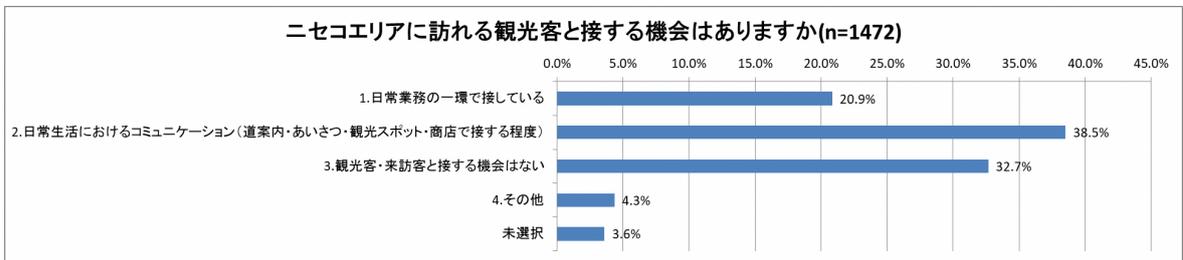


町別にみると、各町とも、そう思う、ややそう思う、2つの回答で9割を超え、全体の回答傾向と変わらない。

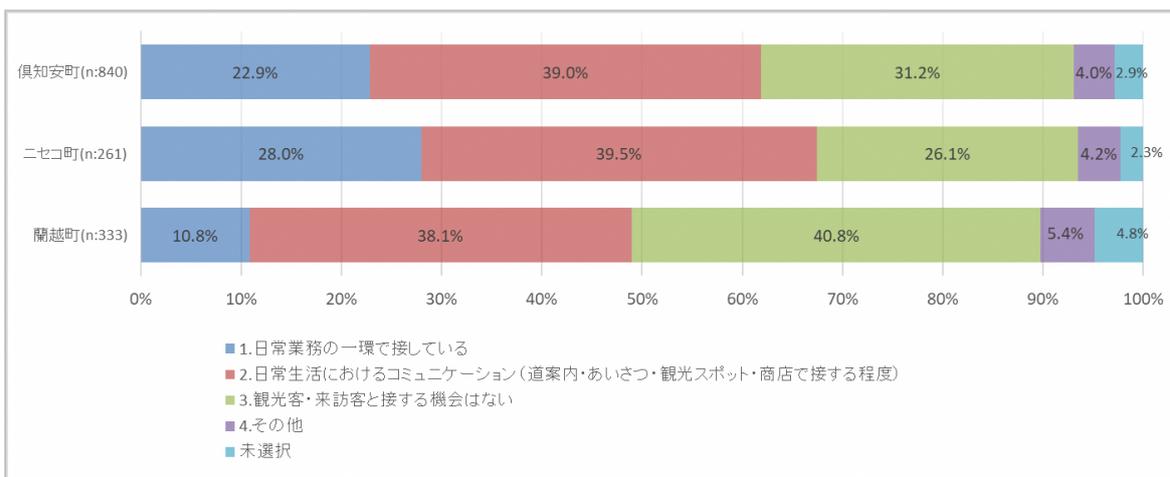


(13) ニセコエリアに訪れる観光客と接する機会がありますか(1つに○)

日常生活におけるコミュニケーション38.5%(567)、日常業務の一環で接している20.9%(307)の2つの回答で6割(874)を占め、観光客と接する機会が多いといえる。一方で、観光客・来訪客と接する機会はない32.7%(481)となっており、3割の住民は観光客との接点がないことがわかる。

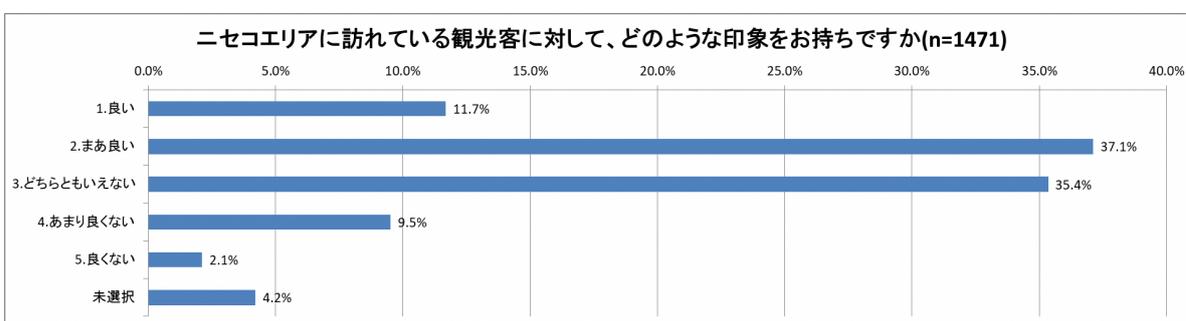


町別にみると、倶知安町とニセコ町においては6割を超える住民が観光客と接点を持っていると回答している一方、蘭越町においては5割に留まり、4割の住民が観光客との接点がないと回答している。

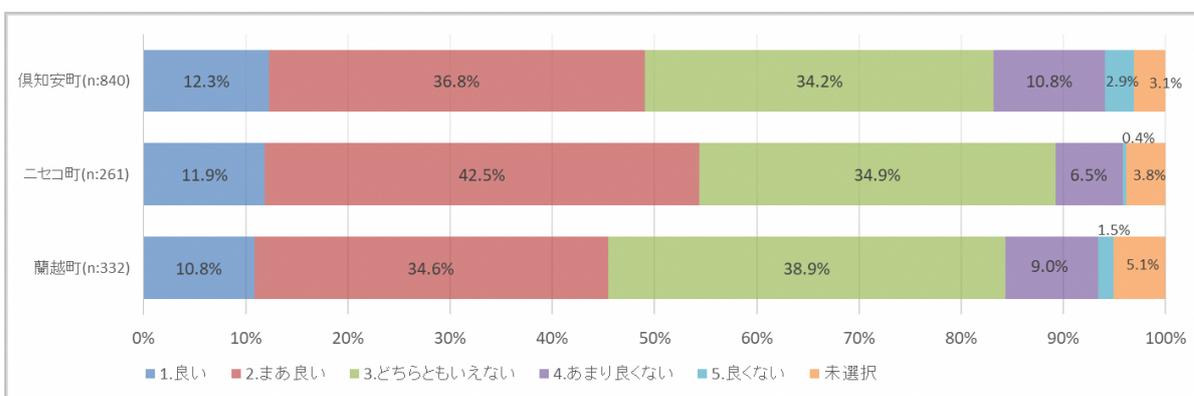


(14) ニセコエリアを訪れている観光客に対して、どのような印象をお持ちですか (1つに○)

まあ良い37.1%(546)、良い11.7%(172)の2つの回答で5割(718)を占める。一方で、どちらともいえない35.4%(520)が3割あり、あまり良くない9.5%(140)、良くない2.3%(31)の否定的な回答も1割(171)ある。

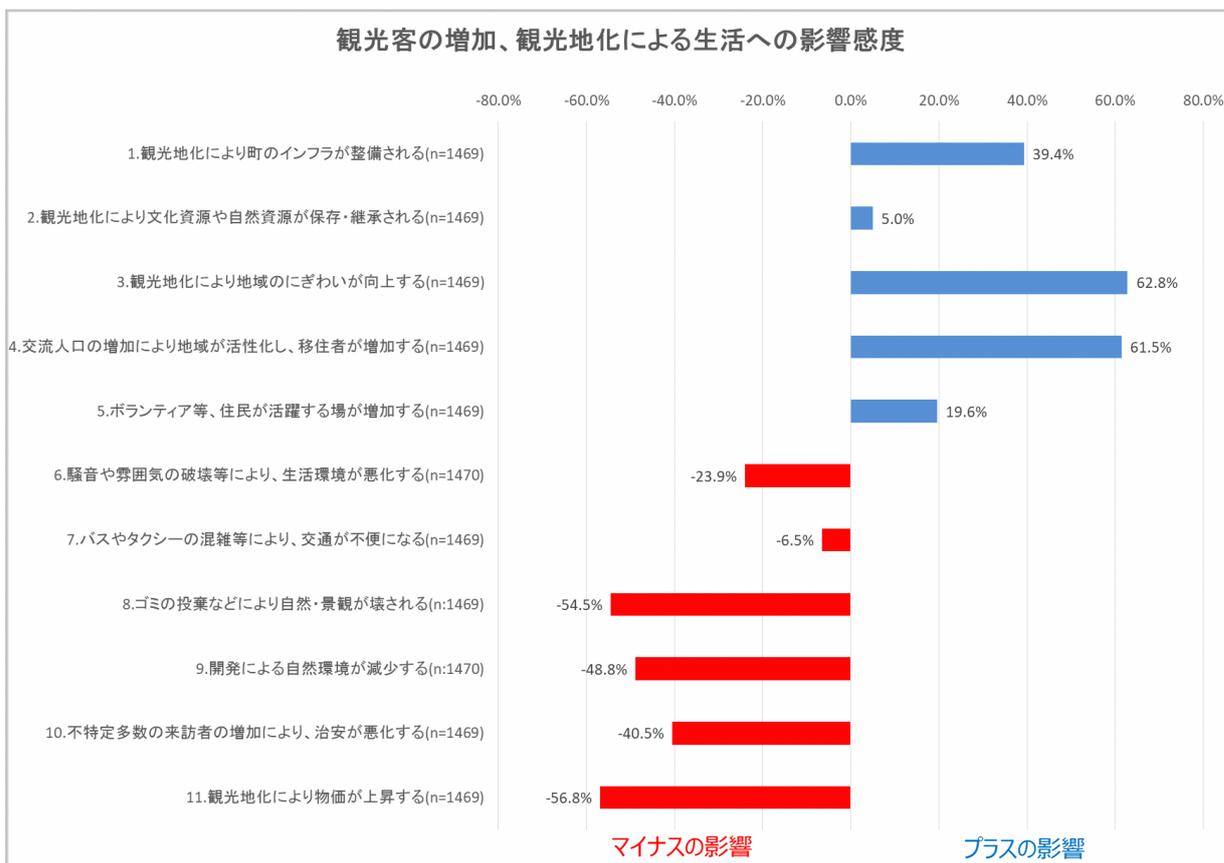


町別にみると、各町とも、まあ良い、良い、2つの回答で5割を超え肯定的な回答が多くなっている。



(15) 観光客の増加や観光地化による生活環境の変化についてどのように感じていますか。次の項目それぞれについてお聞かせください(1つに○)

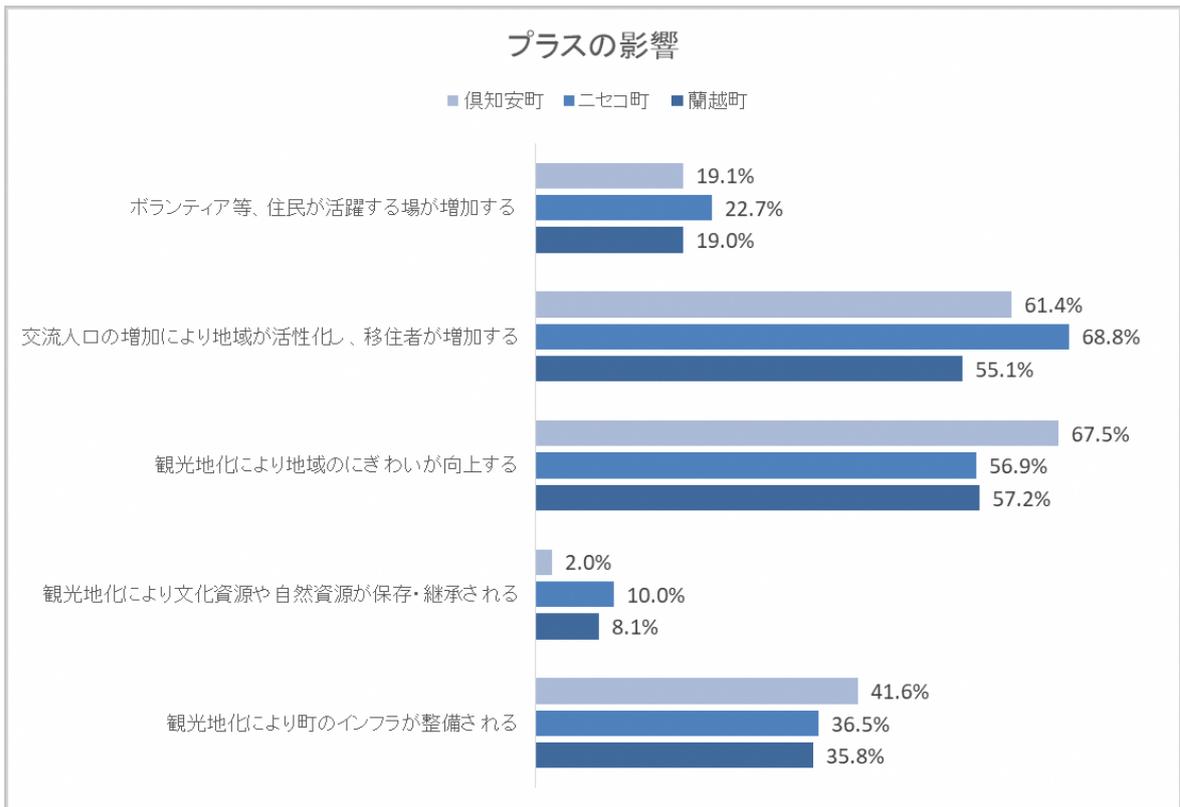
インフラ、地域のにぎわい、移住者の増加など観光化による経済波及効果をあげる回答が多くなっている。マイナス面については、自然環境や生活環境(物価の上昇、治安の悪化など)をあげる回答が多くなっている。



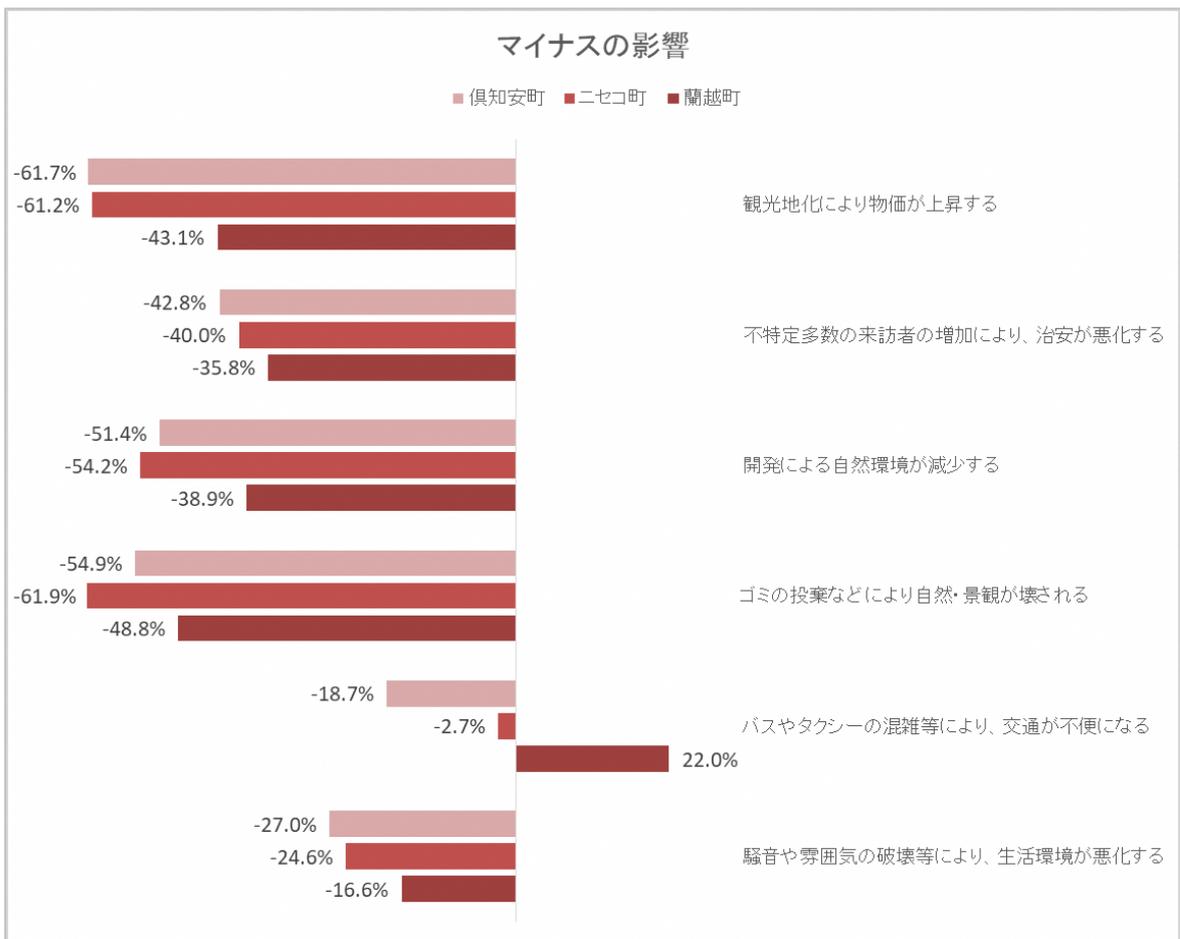
※「ある」の回答割合から「ない」の回答割合を引いた割合

プラスの影響を町別にみると、各町とも、インフラ、地域のにぎわい、移住者の増加など観光化による経済波及効果をあげる回答が多くなっている。倶知安町では、地域のにぎわい、インフラが、ニセコ町では、移住者の増加の回答が他町に比べ多くなっている。

マイナスの影響を町別にみると、各町とも、自然環境や生活環境(物価の上昇、治安の悪化など)をあげる回答が多くなっているが、蘭越町においては、他町に比べマイナスの影響が低い傾向にある。また、蘭越町においては、交通の不便性について、マイナスでないとの回答が多くなっている。



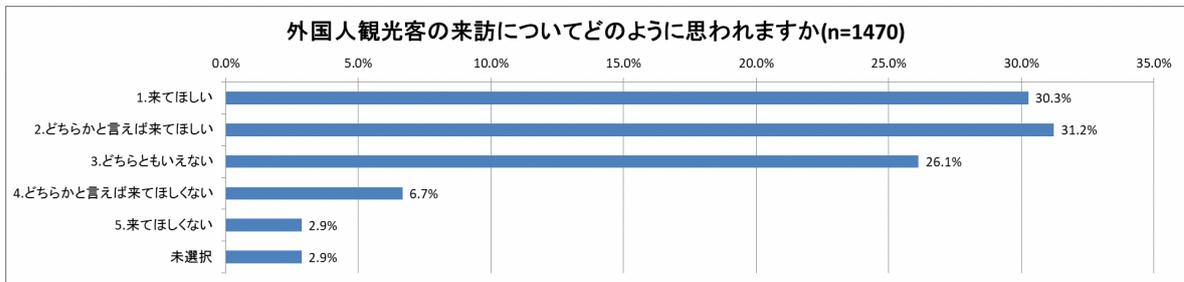
※「ある」の回答割合から「ない」の回答割合を引いた割合



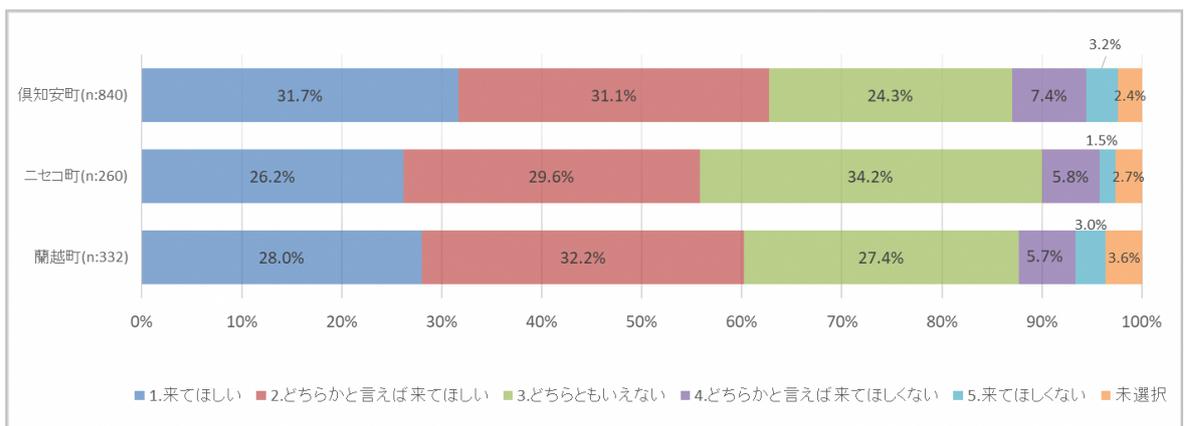
※「ある」の回答割合から「ない」の回答割合を引いた割合

(16) 外国人観光客の来訪についてどのように思われますか (1つに○)

どちらかといえば来てほしい31.2%(459)、来てほしい30.3%(445)、2つの回答で6割(904)を占める。一方で、どちらともいえない26.1%(384)が3割弱あり、どちらかといえば来てほしくない6.7%(98)、来てほしくない2.9%(42)の否定的な回答も1割(140)ある。

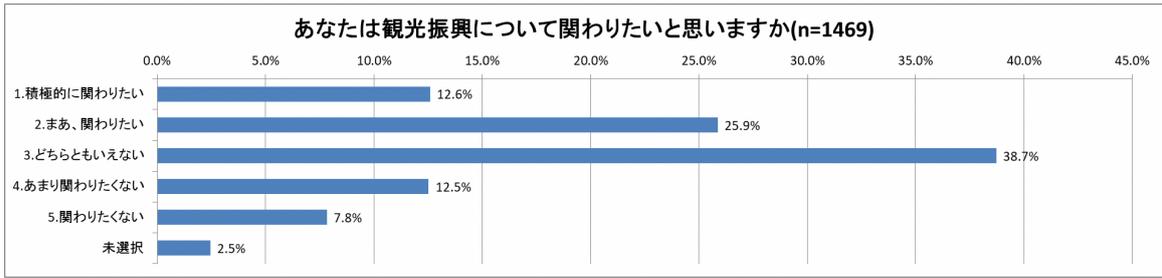


町別にみると、各町とも、どちらかといえば来てほしい、来てほしい、2つの回答で6割を占め、肯定的な回答が多くなっている。なお、ニセコ町においては、どちらともいえない34.2%(89)が他町に比べ多くなっている。

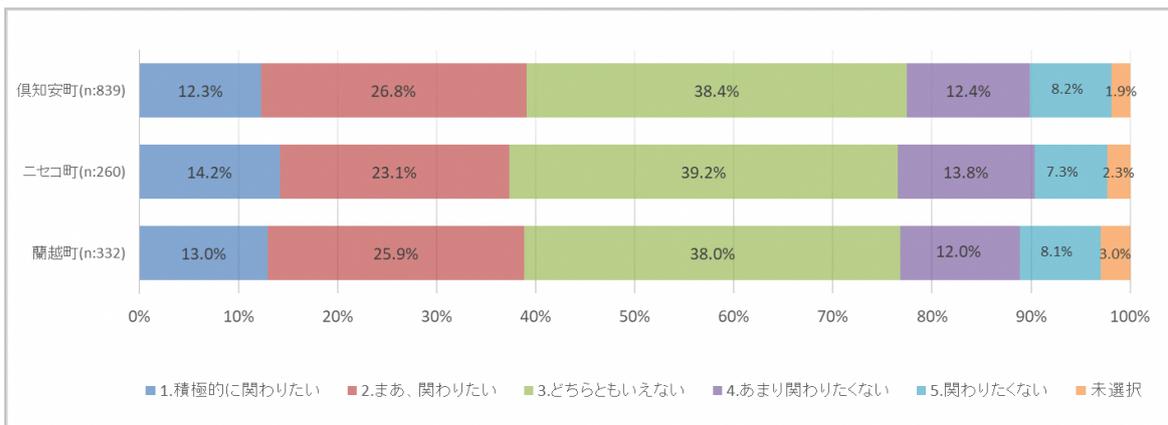


(17) あなたは観光振興について関わりたいと思いますか (1つに○)

どちらともいえない38.7%(569)の回答が多くなっている。まあ関わりたい25.9%(380)、積極的に関わりたい12.6%(185)、2つの回答で4割(565)を占めている。あまり関わりたいくない12.5%(184)、関わりたいくない7.8%(115)、2つの回答は2割(299)である。肯定的な回答が否定的な回答を上回っているものの、どちらともいえないとの回答が多いことに注意をする必要がある。

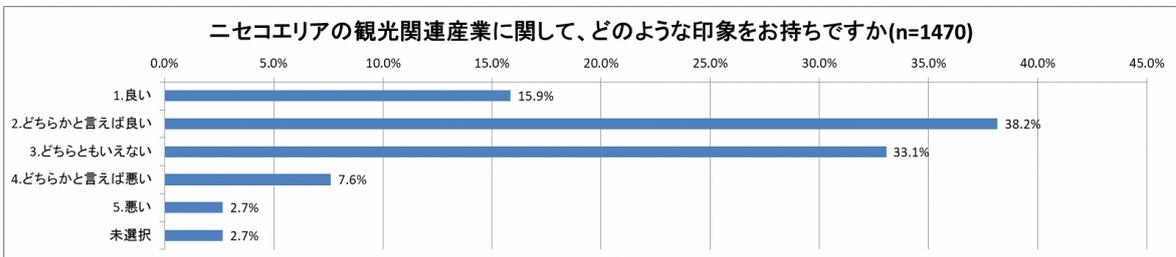


町別にみると、各町とも、どちらともいえない、の回答が多くなっている。まあ関わりたい、積極的に関わりたい、の2つの回答は4割である。あまり関わりたくない、関わりたくない、2つの回答は2割である

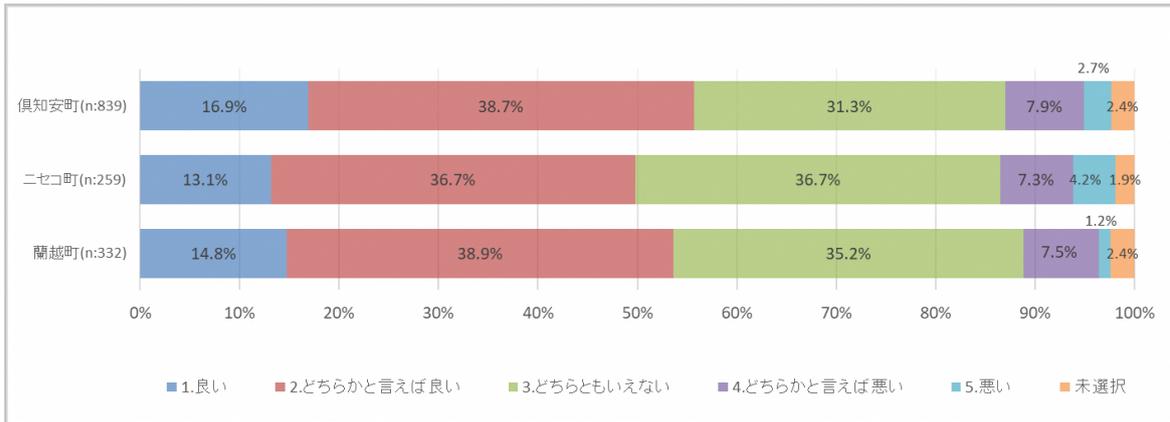


(18) ニセコエリアの観光関連産業に関して、どのような印象をお持ちですか(1つに○)

どちらかと言えば良い38.2%(561)、どちらともいえない33.1%(486)の順となっている。肯定的な回答54.1%(794)、否定的な回答10.3%(151)で肯定的な回答が上回っているが、どちらともいえないとの回答が多いことに注意をする必要がある。

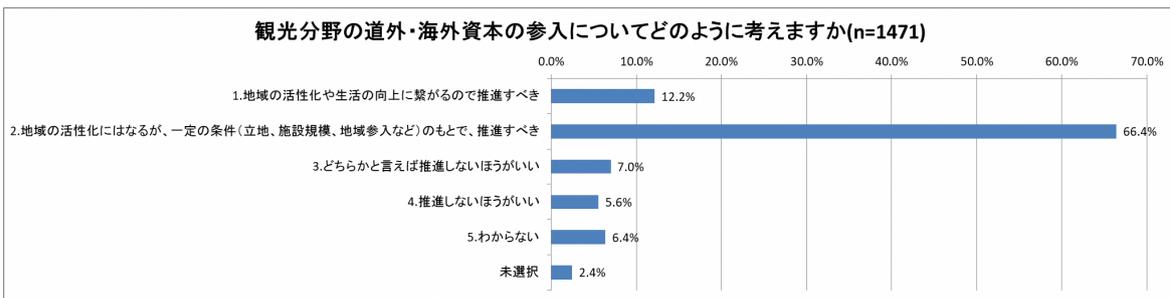


町別にみると、各町とも、どちらかと言えば良い、どちらともいえない、良い、の順となっている。肯定的な回答は5割であり、否定的な回答を上回っている。

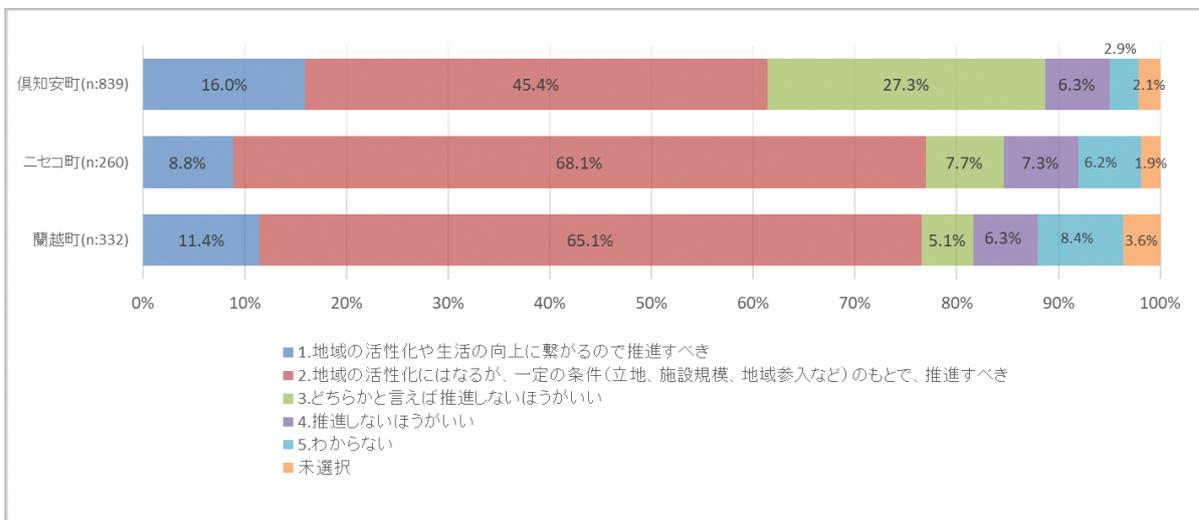


(19) 観光分野の道外・海外資本の参入についてどのように考えますか(1つに○)

地域の活性化にはなるが一定の条件(立地、施設規模、地域参入など)のもとで推進すべきが66.4%(977)で圧倒的に多くなっている。否定的な意見は12.6%(176)である。このことから、むやみに資本参入を認めるのではなく、制限を設けた上で、各町がコントロールを行い推進することが必要であると考えられる。

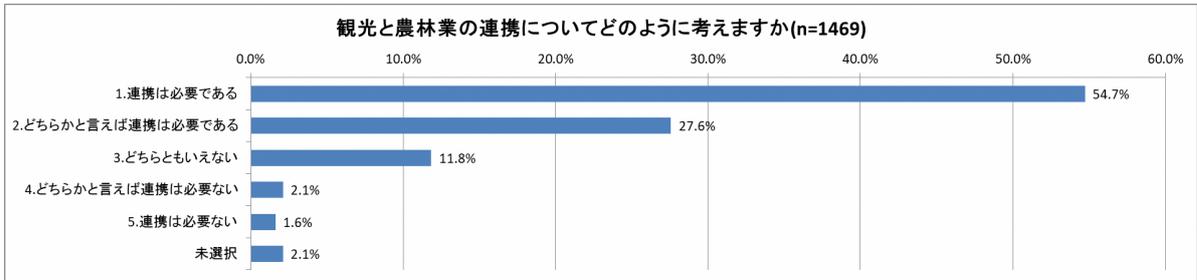


町別にみると、各町とも、地域の活性化にはなるが一定の条件(立地、施設規模、地域参入など)のもとで推進すべきが圧倒的に多くなっている。俱知安町においては、どちらかといえば推進しない方がよい、との回答が他町に比べ多くなっている。

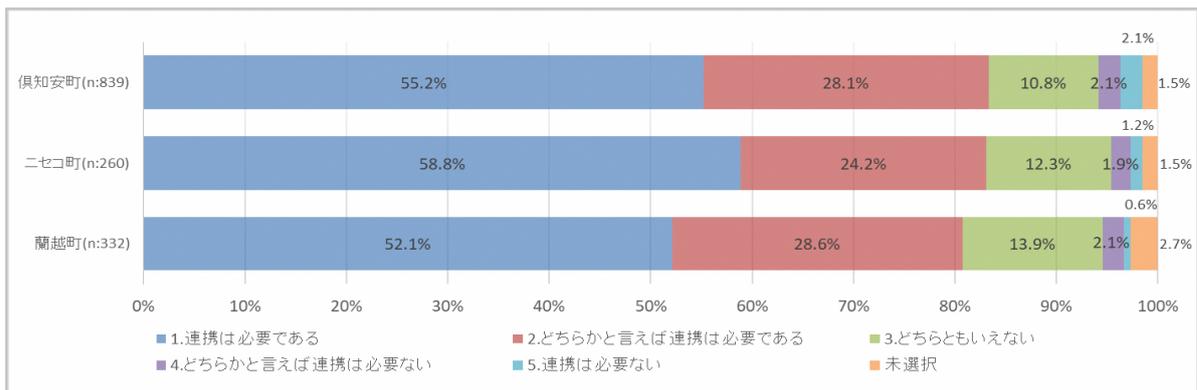


(20) 観光と農林業の連携についてどのように考えますか (1つに○)

連携は必要である54.7%(804)が5割を超え、どちらかと言えば連携は必要である27.6%(405)を加えると8割(1209)に達する。このことからニセコ地域において、観光と農林業の連携は重要なポイントであるといえる。

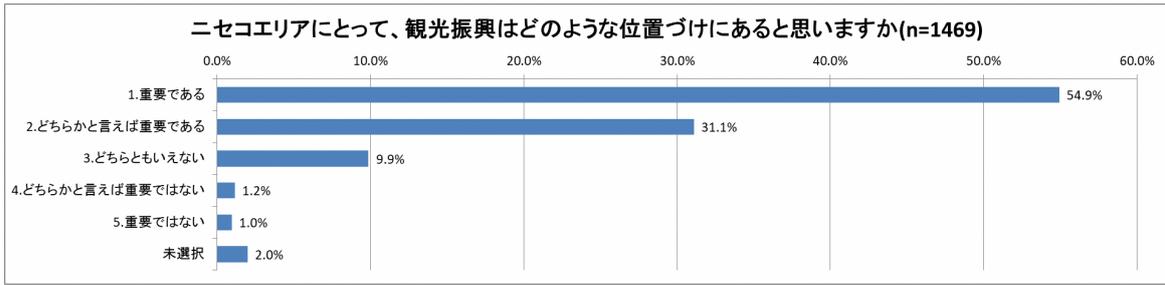


町別にみると、各町とも、連携は必要である、が5割を超え、どちらかと言えば連携は必要である、を加えると8割に達している。

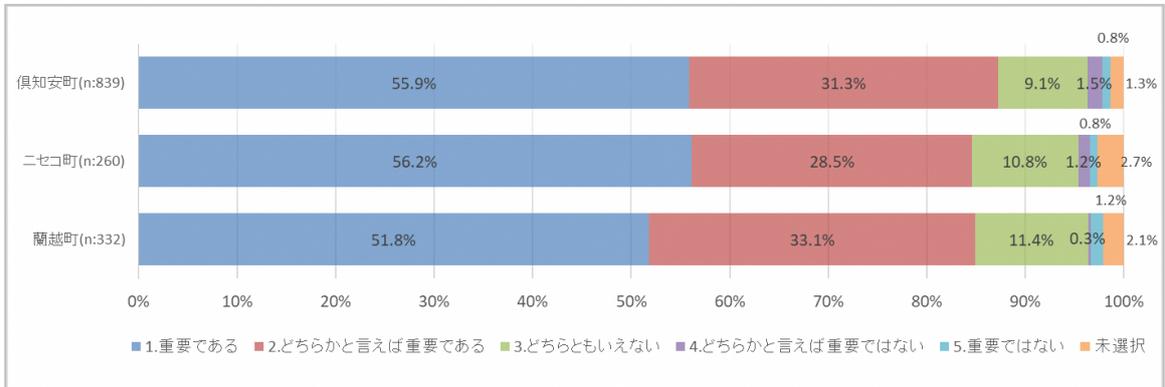


(21) ニセコエリアにとって、観光振興はどのような位置づけにあると思いますか (1つに○)

重要である54.9%(807)が5割を超え、どちらかと言えば重要である31.1%(457)を加えると9割近く(1264)に達する。このことからニセコ地域において、観光振興は重要だと住民は考えていることがわかる。

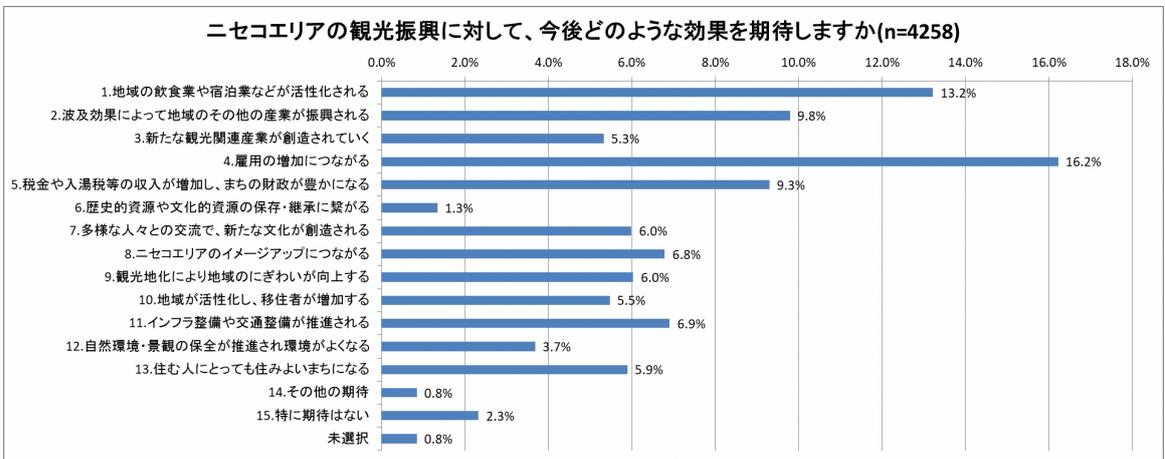


町別にみると、各町とも、重要である、が5割を超え、どちらかと言えば重要である、を加えると9割近くに達する。

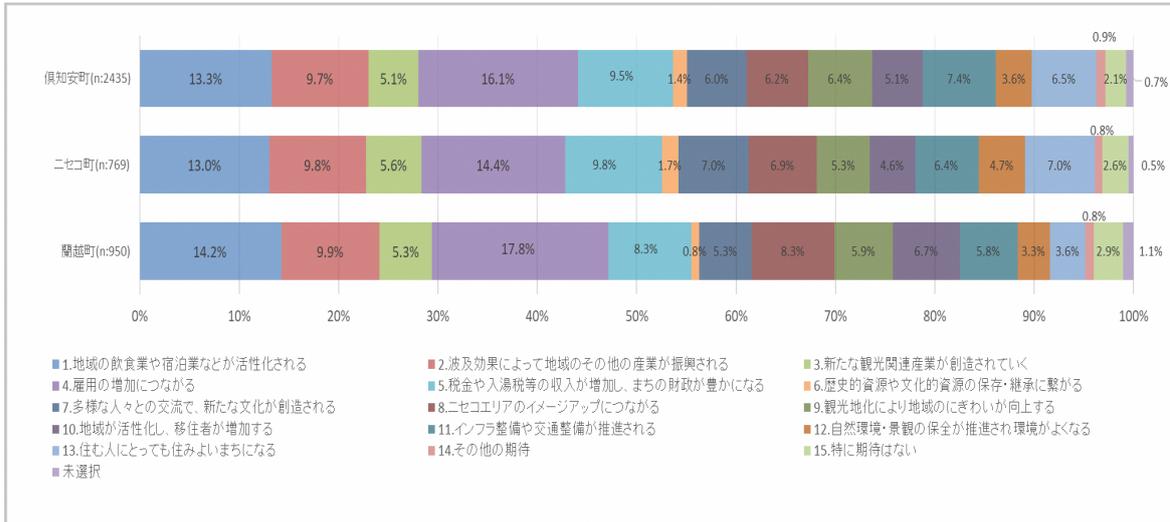


(22) ニセコエリアの観光振興に対して、今後どのような効果を期待しますか(あてはまるもの上位3つに○)

観光振興の効果としては、上位3つをあげると次のとおりとなる。雇用の増加につながる16.2%(691)、地域の飲食業や宿泊業などが活性化される13.2%(563)、波及効果によって地域のその他の産業が振興される9.8%(417)。なお、税金や入湯税等の収入が増加しまちの財政が豊かになる9.3%(396)の回答も多くなっている。このことから、雇用や産業の活性化などの経済波及効果を住民は期待していることがわかる。

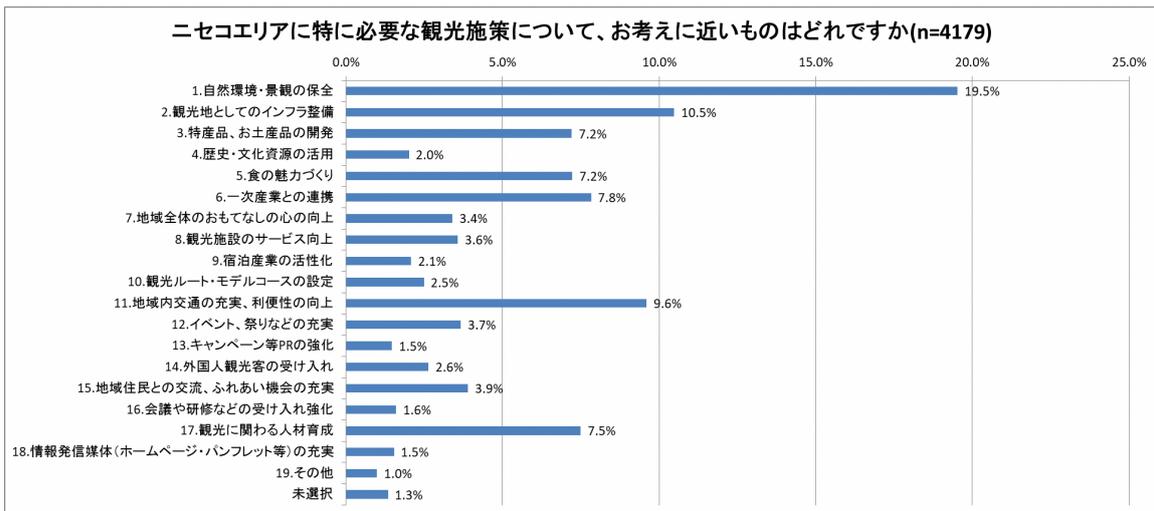


町別にみると、各町とも、雇用の増加につながる、地域の飲食業や宿泊業などが活性化される、波及効果によって地域のその他の産業が振興される、の順で多くなっている。

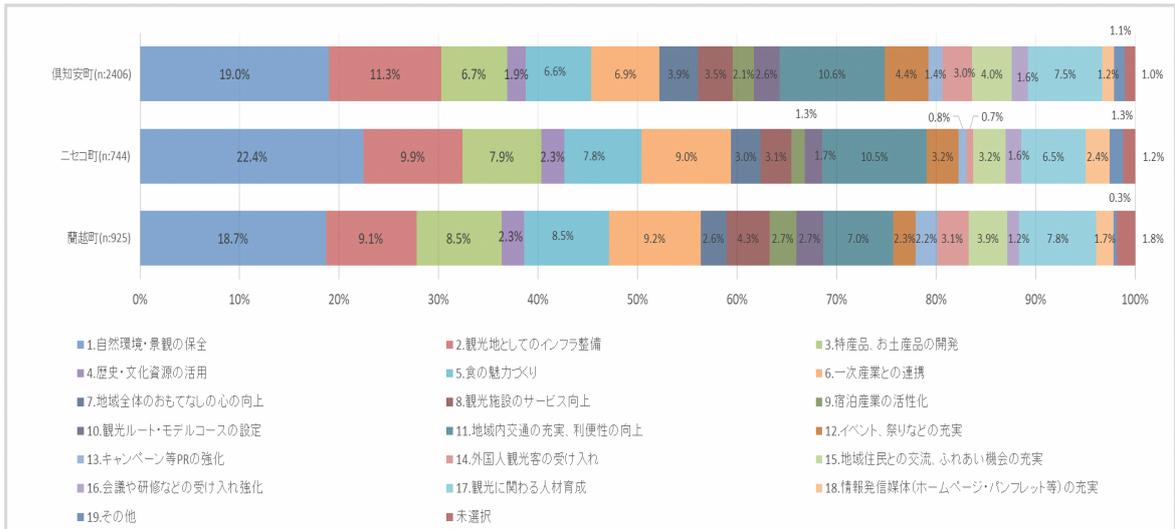


(23) ニセコエリアに特に必要な観光施策について、お考えに近いものはどれですか (あてはまるもの上位3つに○)

観光施策の要望としては、上位3つをあげると次のとおりとなる。自然環境・景観の保全19.5%(816)、観光地としてのインフラ整備10.5%(438)、地域内交通の充実、利便性の向上9.6%(401)。このことから、住民は自然環境・景観の保全を第一に、地域内交通の利便性向上も含む観光インフラの整備を要望していることがわかる。



町別にみると、各町とも、自然環境・景観の保全、観光地としてのインフラ整備、地域内交通の充実、利便性の向上、の回答が多くなっている。



【調査等ご協力者】

■ 調査協力機関

- ・ 俱知安町
- ・ 蘭越町
- ・ ニセコ町

【プロジェクトメンバー】

■ 国立大学法人 小樽商科大学

- ・ 李 濟民(グローバル戦略推進センター産学官連携推進部門長)
- ・ 後藤 英之(グローバル戦略推進センター産学官連携推進部門 准教授)

【本報告書に関する問い合わせ先】

小樽商科大学グローバル戦略推進センター

産学官連携推進部門

後藤

Tel:0134-27-5290

Mail:h-gotoh@res.otaru-uc.ac.jp